

Chapter 4

ネットニュースメッセージの分析 結果

4.1 解析対象

本研究では分析の対象として、ネットニュースを取り上げ、ニュースグループとして日本国内を中心に活発な投稿が行われている `fj.news.usage` を選択した。このニュースグループはネットニュースの使い方について議論する場とされており、さまざまな対立が日常的に観察される場である。解析期間は 1995 年 1 月 1 日より 1998 年 12 月 31 日までとした。全てのデータは北陸先端科学技術大学大学の `fj` アーカイブ¹より入手した。これに含まれる同一のメッセージ ID の記事は一つを残して他を削除した。

4.2 スレッドとその統計量

1995 年 1 月 1 日より 1998 年 12 月 30 日までに `fj.news.usage` に投稿された記事を、前章の手順にしたがいスレッドツリーにまとめた。スレッドは大きいものから順に番号を与えて識別する。記事総数はダミーを含め 52,634 件であり、内ダミー記事は 2,340 件であった。スレッド総数は 5,998、この内、二つ以上の記事から構成されるスレッドは 3,197 であった。スレッドの大きさの分布を表 4.1 に示す。

分析対象期間に観測されたスレッドの中で、構成記事数の多い上位 50 のスレッドと、その解析結果を表 4.2 に示す。各項目の意味は以下の通り。

¹<ftp://mitsuko.jaist.ac.jp/pub/news-archive>、現在このサービスは停止されている。

Table 4.1: スレッドの大きさの分布

| 大きさ | 度数 | 大きさ | 度数 | 大きさ | 度数 | 大きさ | 度数 | 大きさ | 度数 |
|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1 | 2801 | 2 | 779 | 3 | 475 | 4 | 293 | 5 | 220 |
| 6 | 171 | 7 | 127 | 8 | 100 | 9 | 71 | 10 | 81 |
| 11 | 59 | 12 | 60 | 13 | 55 | 14 | 41 | 15 | 29 |
| 16 | 31 | 17 | 30 | 18 | 24 | 19 | 26 | 20 | 23 |
| 21 | 23 | 22 | 25 | 23 | 21 | 24 | 20 | 25 | 11 |
| 26 | 19 | 27 | 19 | 28 | 14 | 29 | 8 | 30 | 10 |
| 31 | 10 | 32 | 7 | 33 | 11 | 34 | 6 | 35 | 13 |
| 36 | 4 | 37 | 11 | 38 | 11 | 39 | 9 | 40 | 6 |
| 41 | 8 | 42 | 6 | 43 | 8 | 44 | 4 | 45 | 11 |
| 46 | 7 | 47 | 3 | 48 | 8 | 49 | 1 | 50 | 7 |
| 51 | 4 | 52 | 1 | 53 | 6 | 54 | 4 | 55 | 1 |
| 56 | 1 | 57 | 2 | 58 | 4 | 59 | 6 | 60 | 4 |
| 61 | 0 | 62 | 6 | 63 | 1 | 64 | 4 | 65 | 1 |
| 66 | 4 | 67 | 8 | 68 | 1 | 69 | 0 | 70 | 2 |
| 71 | 2 | 72 | 3 | 73 | 0 | 74 | 2 | 75 | 3 |
| 76 | 2 | 77 | 1 | 78 | 2 | 79 | 2 | 80 | 2 |
| 81 | 1 | 82 | 0 | 83 | 1 | 84 | 0 | 85 | 0 |
| 86 | 0 | 87 | 3 | 88 | 1 | 89 | 1 | 90 | 2 |
| 91 | 2 | 92 | 1 | 93 | 0 | 94 | 1 | 95 | 2 |
| 96 | 3 | 97 | 4 | 98 | 1 | 99 | 2 | 100 | 0 |
| 101 | 1 | 102 | 1 | 103 | 1 | 104 | 1 | 106 | 1 |
| 107 | 2 | 110 | 1 | 113 | 1 | 115 | 1 | 119 | 1 |
| 120 | 2 | 121 | 1 | 122 | 1 | 123 | 1 | 124 | 1 |
| 126 | 3 | 129 | 3 | 131 | 1 | 134 | 1 | 136 | 1 |
| 138 | 1 | 141 | 1 | 145 | 1 | 146 | 1 | 150 | 1 |
| 155 | 1 | 156 | 1 | 157 | 2 | 165 | 2 | 170 | 1 |
| 172 | 1 | 174 | 1 | 179 | 1 | 180 | 1 | 185 | 1 |
| 199 | 1 | 207 | 1 | 215 | 1 | 216 | 2 | 217 | 1 |
| 218 | 1 | 225 | 1 | 228 | 1 | 235 | 1 | 240 | 1 |
| 253 | 1 | 255 | 1 | 266 | 1 | 273 | 1 | 285 | 1 |
| 286 | 1 | 289 | 1 | 328 | 1 | 337 | 1 | 338 | 1 |
| 343 | 1 | 357 | 1 | 364 | 1 | 367 | 1 | 374 | 1 |
| 412 | 1 | 455 | 1 | 456 | 1 | 480 | 1 | 574 | 1 |
| 576 | 1 | 673 | 1 | 844 | 1 | | | | |

Table 4.2: 大きなスレッドとその内容

| 順位 | 大きさ | 振動強度 | 語句の数 | 主成分数 | 分類(表4.3参照) | | | | | 内容 |
|----|-----|----------|------|------|------------|---|---|---|---|--------------|
| | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 1 | 844 | 2.85(27) | 150 | 46 | | | x | | x | 署名の引用 |
| 2 | 673 | 3.47(15) | 150 | 46 | | x | x | x | | 匿名投稿, end行 |
| 3 | 576 | 8.97(6) | 144 | 42 | x | x | | | | 初心者です |
| 4 | 574 | 6.99(3) | 143 | 42 | | x | x | | | 用語(レス, 他) |
| 5 | 480 | 8.77(1) | 120 | 33 | | x | x | | | end test |
| 6 | 456 | 5.61(10) | 114 | 34 | x | x | x | | | end行の理由 |
| 7 | 455 | 6.29(7) | 113 | 33 | x | x | | | | 初心者より一言 |
| 8 | 412 | 3.53(19) | 103 | 28 | x | | | | | 厳しい指摘 |
| 9 | 374 | 9.24(17) | 93 | 29 | x | | | | | 厳しい指摘 |
| 10 | 367 | 6.89(14) | 91 | 25 | x | x | | | x | 議論の仕方 |
| 11 | 364 | 3.36(27) | 91 | 29 | x | x | | | | 厳しい指摘, 文字コード |
| 12 | 357 | 6.65(12) | 89 | 26 | x | | | | | 注意の仕方 |
| 13 | 343 | 8.38(9) | 85 | 26 | | x | | | | 差別用語 |
| 14 | 338 | 4.32(7) | 84 | 25 | x | | | | x | 初心者用ニュースグループ |
| 15 | 337 | 3.56(10) | 84 | 26 | | | x | | | end行の文字化け |
| 16 | 328 | 24.52(4) | 82 | 23 | x | | | | | 指摘の仕方 |
| 17 | 289 | 7.03(1) | 72 | 19 | x | x | | | | 文字コード, 指摘の仕方 |
| 18 | 286 | 5.76(8) | 71 | 18 | x | | | | x | 文書の多量転載 |
| 19 | 285 | 3.67(16) | 71 | 21 | x | | | | x | fjと組織, メイル転載 |
| 20 | 273 | 5.38(4) | 68 | 17 | x | | | | | 批判の仕方 |
| 21 | 266 | 8.87(3) | 66 | 20 | | | x | x | | アドレス偽造, 管理責任 |
| 22 | 255 | 5.55(14) | 63 | 20 | x | | | | | 質問の仕方 |
| 23 | 253 | 5.82(2) | 63 | 19 | | x | | | | 用語誤用の是非 |
| 24 | 240 | 9.03(6) | 60 | 18 | x | | | | | 罵倒 |
| 25 | 235 | 8.06(6) | 58 | 15 | x | | | | | 罵倒 |
| 26 | 228 | 3.49(10) | 57 | 20 | | | | | x | テスト投稿 |
| 27 | 225 | 11.63(1) | 56 | 18 | | | | | x | fjとjapan |
| 28 | 218 | 4.53(1) | 54 | 12 | | | x | | | 匿名投稿 |
| 29 | 217 | 4.40(11) | 54 | 15 | x | | | | | 指摘の仕方 |
| 30 | 216 | 7.57(1) | 54 | 18 | x | | | | | 初心者問題 |
| 31 | 216 | 3.00(8) | 54 | 15 | x | x | | | | 用語誤用の指摘の仕方 |
| 32 | 215 | 2.93(4) | 53 | 14 | x | | | | | 問題記事の処置 |
| 33 | 207 | 7.47(4) | 51 | 14 | | | x | | | end行による文字化 |

Table 4.3: 話題の分類と対立の構図

| 分類 | 議論の内容 | 対立概念 |
|----|-------------|---------|
| 1 | 指摘の仕方 | 居心地：普遍性 |
| 2 | 用語について | 通用性：正確性 |
| 3 | end 行について | 利便性：普遍性 |
| 4 | 匿名投稿 | 無秩序：秩序 |
| 5 | ネットニュースの利用法 | |

順位 スレッドを、それを構成する記事数の多い順に並べたときの順位。
以下、この番号によりスレッドを識別する。

大きさ スレッドを構成するメッセージの数。

振動強度 パワースペクトルの周期 2 世代の値 (ベースライン補正値) を db で表示した値。解析対象の全ての主成分での最大値を示し、括弧内に最大値を示した主成分番号を記す。

語句の数 解析に用いたキーワードの数。

主成分数 解析に用いた主成分の数。

これら大きなスレッドの議論内容は表 4.3 に示すように、5 種類の話題に分類され、その多くに対立関係が認められる。これらは、普遍性を追求する伝統的なインターネット文化と、利便性を重んじる商業文化ないし、居心地の良さを追求する仲間集団指向の文化の対立とも合致する。以下、それぞれの話題について対立の内容を分析し、対立の要因をより詳しく検討する。

4.3 指摘の仕方に関する議論

ニュースグループ `fj.news.usage` は、ネットニュースの使い方を議論する場であり、誤った使い方に対する指摘が頻繁になされる一方で、その指摘の仕方についても数多く議論がなされている。振動強度は 4~6db 程度の比較的高い値を示す。なお、スレッド 16 の高い振動強度は、ベースラインの誤差による異常値である。

必要な情報を短い言葉で述べる記事は、往々にして、ネットニュースに接して日の浅い質問者を萎縮させる。一般の社会集団において、他人には親切に接すべきであり、特に初心者を萎縮させるような行為は

好ましくないとされている。一方で、*fj* のように多種多様の参加者からなる場では、質問者の個人的事情に配慮した回答が期待できないことも事実であり、情報の正確さを第一に考える立場も正当といえる。

この対立を常連対初心者とみなす見解もある。しかし、参加期間や投稿数による参加者の差というよりは、むしろ、参加者がネットニュースに求める価値の違い、すなわち、居心地の良さを求めるか、正確な情報を求めるかという、価値観の違いによると考えられる。商用 BBS が参加者の居心地の良さを追求するのに対し、学術社会に近い伝統的インターネット文化は情報の正確性を追求する性格をもつ。この二つの立場の違いは、商業的インターネット文化と伝統的インターネット文化に対応する。

以下、この話題で最も大きなスレッドを形成した、スレッド 3について、読解結果と機械的解析結果を紹介する。

4.3.1 スレッド 3 の読解結果

この話題は、*kumax@umi.ne.jp* 氏の、他人にはもっと親切に教えるべきではないかとの主張<636it3\$70t\$1@slave.umi.ne.jp>に始まり、合計 576 件の記事からなるスレッドを形成した。以下、スレッドの内容を記事を引用しながら紹介する。カギ括弧内はスレッドツリーの中の記事の位置を示すもので、スレッド番号と枝の番号であり、ルートノードから順にピリオドで区切って示した。スレッド番号は、スレッドを構成する記事の多い順に付番し、枝番号はその枝以下の記事数の少ない順に付番した。また、内容の引用に際しては、ツリー中の記事の位置と、投稿者のユーザ ID、及びそれぞれの記事のメッセージ ID を表示し、記事を代表すると思われる文を紹介した。

まず、この原因を解説するフォローがいくつかあり、これらは小さいサブツリーを形成している。直接のフォロー 14 の内 11 は小さなサブツリーを形成している。内容は、概ね元記事の疑問に応えるものである。以下に、これらのフォローを含む、スレッドツリーの最初の部分を示す。

初心者です。

```
[3] +14,576 usage/19971029-10 kumax@umi.ne.jp <636it3$70t$1@slave.umi.ne.jp>
    言葉一つで相手がどういった感じを受けるかということを考えながらのコミュニケーションはとても大切だと思っています。
[3.1] usage/19971029-11 onizuka@mpapia.trc.rwcp.or.jp
        <lc62015drn8.fsf_-@mpapia.trc.rwcp.or.jp>
        知らない人がどこまで知らないか、知っている人が推測するのもすっごい難しいのですよね
[3.2] usage/19971029-15 jiro@nerimadors.or.jp <JIRO.97Oct29170622@ace.nerimadors.or.jp>
        教える側が疲れてキレかけているだけでしょう。
[3.3] usage/19971029-23 kato@mt.ksi.co.jp <636vdd$ak$2@schwarz.ksi.co.jp>
        人がその記事を読んでどう思うか? なんて、分からないですよ。
[3.4] usage/19971029-24 tiwato@res.yamanashi-med.ac.jp
```

```

<tiwato-ya02408000R2910971821390001@eagle.yamanashi-med.ac.jp>
    どうして「バカにされた」って感じるんだろう。自分の認識の間違いを指摘されたんなら、改めればいいだけでしょ。
[3.5] usage/19971029-33 kim@alles.or.jp <637ir0$ppi$1@news.alles.or.jp>
    指摘されると「偉そうに」と思うんですか？ずいぶん根性の曲った人だと私は思いますが。
[3.6] usage/19971029-36 s55201@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp
<mb4pvoc0il.fsf@o2-xs02.hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp>
    それは素晴らしいことです。しかし全ての人に強制するのは難しいですねー:-(
[3.7] usage/19971030-01 ymakioka@pis.bekkoame.or.jp
<ymakioka-3010970830430001@fko0067.bekkoame.or.jp>
    「やさしくわかりやすく説明してあげる」とおっしゃる方が、なぜ「Microsoft社をばかにする言動に腹を立てた」のでしょうか。
[3.8] usage/19971030-05 minz@super.win.or.jp <638ost$e6b$1@saint.win.or.jp>
    可能な範囲でそうしよう、と思っている方が殆んどだと思いますよ。
[3.9] usage/19971031-12 ufeq0285@cc.okayama-u.ac.jp <EIwK2t.HH7@cc.okayama-u.ac.jp>
    こちらが親切に対応しているつもりでも、相手が曲解すると、おかしなことになりますよね。
[3.10] usage/19971114-19 nao1@urban.ne.jp <64ftgs$rls@ntp.urban.or.jp>
    ほくもそうです。だけど、そうじゃない人もいることが今回の議論で分かりました。
[3.11] +1,3 usage/19971029-25 fuchs@asahikawa-med.ac.jp
<6371ef$gg4$1@file-sv.asahikawa-med.ac.jp>
    事実の指摘は見られるものの、なにものかを馬鹿にするような記事は見られませんでした。
[3.11.1] usage/19971030-06 fuchs@asahikawa-med.ac.jp
<638pmk$iqq$1@file-sv.asahikawa-med.ac.jp>
    MSINユーザってせっかくこういうアドバイスをもらっているのに、分けわからぬ文句をたれるんでしょう。
[3.11.1.1] usage/19971030-06 fuchs@asahikawa-med.ac.jp
<638pmk$iqq$1@file-sv.asahikawa-med.ac.jp>
    理想とする状態があってそれが自分が参加している場所で成立していないことに猛烈なストレスを感じるのででしょうね。

```

元記事に対する直接のフォローである [3.12], [3.13], [3.14] の三記事はそれぞれ大きなサブツリーを形成している。

記事 [3.12] は f_j を「職員室」に例え、初心者に優しいコミュニケーションを求めるなら、Nifty 等を勧める。この下には 65 の記事からなるサブツリーが形成されている。この中では、いくつかの興味深い議論が交わされている。

まず、記事 [3.12.3.1] に始まる要素数 4 のサブツリーでは、 f_j がいかなる場であるかについて議論がなされている。これは、「職員室」の「室」の部分が注目され、ネットニュースを「部屋」というイメージで捉える人が多いのは「定住」あるいは「所属」を求める人が多いためではないかとの意見が出され、それよりは「道路」に近い、あるいは、「広場のあちこちで集まって雑談している状態」などの表現が出されている。記事 [3.12.4] に始まる要素数 6 のサブツリーは、 f_j を「職員室」に例えたことに関連して、大人と子供の関係で初心者を論じている。これと並行する、記事 [3.12.5] に始まる要素数 8 のサブツリーは、 f_j は自由にものがいえる場とする投稿に対して、責任を自覚すべきとの議論がなされている。記事 [3.12.6] に始まるサブツリーは、問題のあるソフトを使い続ける理由について論じ、要素数 42 のサブツリーを形成している。この中で、記事 [3.12.6.1.1.5] は、他のソフトを使ったことのない人が、特定のソフト

を「最高」と考えるという、興味深い現象について論じ、記事数 35 のサブツリーを形成している。

元記事に対するもう一つの直接のフォロー [3.13] は、 f_j には「先生方の野次や腰巾着共の遠吠え」もあり、これが不快であるなら Nifty を勧めるというものであり、Nifty と f_j の比較に始まる要素数 150 のサブツリーを形成した。議論の内容は、いずれに「腰巾着」が多いか、それぞれの場における責任のあり方等が論ぜられ、ニュースリーダに関する話題に移行する。記事 [3.13.5.2.1.3.2.1.2] 以下の要素数 86 のスレッドツリーは、end 行の是非に関する議論である。この話題に関しては他のスレッドの解析において紹介する。

元記事に対する最後の直接のフォロー [3.14] は、厳しい言葉も熟慮の結果であるとの主張で、要素数 347 のサブツリーを形成した。このフォロー中最大のサブツリーを形成したものは、ネットも人間関係であり、やさしくすべきとの主張 (記事 [3.14.3]) であり、要素数 334 のサブツリーを形成している。

このサブツリー中に、二つの大きなサブツリーが形成されている。

一つは傲慢な初心者について議論したものであり、記事 [3.14.3.11] に始まる要素数 58 件のサブツリーを形成している。この中ではマナーと対人関係の基本ルールに関する、記事 [3.14.3.11] に始まる大きさ 58 のサブツリーにおける議論が注目される。このサブツリーにおける議論は、傲慢な初心者に反感を持つ者の間で、そのような現象が生じる背景について議論を行ったものであり、要旨は以下の通りである。

- 人数が多く、仲良しクラブ的な対応は難しい。未知の人の質問には、技術論的な回答をするのが一番簡単である。
- 傲慢な初心者は、対人関係が下手な人ではないか。
- 失礼な言い方をするなどいう人の言い方が、非常に失礼に感じられるケースが多い。参加者の人数が増えたので、自分に都合の良いようにマナーを解釈する変な人も増えてきたのではないか。
- 自分が間違っていることを指摘されたら、口調はどうあれ、まず直すことを試みるというのが基本的マナーであるにもかかわらず、他人のプライドを傷つけないといった補助的なルールが優先されるような風潮があり、これが基本的マナーを身に付けることを阻害しているのではないか。

- 他人の誤りを指摘するのに、人格にまで踏み込む必要はないのではないか。

もう一つは厳しい注意の悪例として方言を使用した記事[3.14.3.12]に始まるサブツリーであり、方言の使用の可否、例の適切さなどを議論する要素数 178 のサブツリーを形成している。一般に *fj* 上で方言に関する話題は反響を呼びやすい。この例では、方言を使用することが相手に失礼にあたる、誤解を招きやすい例としてあげられ、かつその用例が正しい方言の用法ではなかったことが大きな議論を呼ぶ原因となったと考えられる。なお、このサブツリーの中には、誤解された時に謝るべきかどうかをめぐる、記事[3.14.3.12.4.1.8.1.8.1.3.1.3.4.4]に始まる要素数 44 のサブツリーも含まれている。

以上をまとめると、以下のようになる。

- 他人の誤りを指摘する際には、他人を傷つけぬよう、表現に気を付けるべきである。
- 厳しい言葉も、回答者が熟慮した上で書いている。
- *fj* は参加者が多く、質問者の人格に踏み込んだ指摘や回答は難しく、技術的に正確な情報が提供されればそれで良とするしかないのでないか。
- 表現を議論する前に、まず誤りを正すべきではないか。

このスレッドで対立している主張は、他人には親切に接すべきとの主張と、正確な情報を重視する立場である。前者の主張は一般社会の常識を根拠とする一方、後者の主張は参加者の多さを根拠に、質問者の人格に踏み込む回答は困難であるとして、技術的な正確性のみを問題とする。*fj* では、後者を支持する論者が多く、前者の主張は旗色が悪い。これは、他人には親切に接すべきとする論者が、最近 *fj* に参加した者であり、*fj* の事情に詳しくなかったことも原因と思われる。

ネットニュース (*fj*) の規模の拡大とともに、「仲良しクラブ」的対応が難しくなったこと、*fj* が情報技術に関わる研究者、技術者のネットワークとして発展した経緯があり、技術情報の正確性を重視する参加者が多い一方で、近年の参加者にはこのような事情が理解されていないことも、議論が紛糾した一つの原因と思われる。

Table 4.4: スレッド 3 の主成分分析結果

| 主成分 | 固有値 | 意味(+) 意味(-) | 負荷の高いキーワード例 |
|-----|----------------|-------------|--|
| | 累積寄与率 | | 負荷の低いキーワード例 |
| 第 1 | 21.6 15.0 % | 長さ | 思, 人, 言, 方, 的, 私, 出, 一, 対, 事, 考, 全, 実, 持, 同 初心者, 最, 所, 常識, 目, 認, 字, 難, 賀間, 初, 馬鹿, 失, 動, 化, 由 |
| 第 2 | 5.8 19.0 % | 論理 言語表現 | 行, 論, 的, 社会, 立, 數, 明, 理, 実, 一般, 定, 情報, 王, 同, 上 関西弁, 語, 方言, 礼, 失, 使, 言葉, 準, 言, 日, 本, 関, 回, 例, 相手 |
| 第 3 | 4.4 22.0 % | 情報 人間関係 | 情報, 記事, 以, 付, 無, 化, 行, 読, 投稿, 字, 認, 度, 少, 上, 他 社会, 一般, 明, 立, 論, 動, 難, 通, 非, 関係, 一, 理, 同, 全, 用 |
| 第 4 | 4.0 24.8 % | 主観性 客観性 | 判断, 百分, 来, 基, 発言, 不, 入, 手, 意見, 正, 聞, 考, 世, 請, 結 情報, 例, 化, 対, 関西弁, 同, 実, 行, 礼, 語, 失, 付, 的, 字, 方言 |

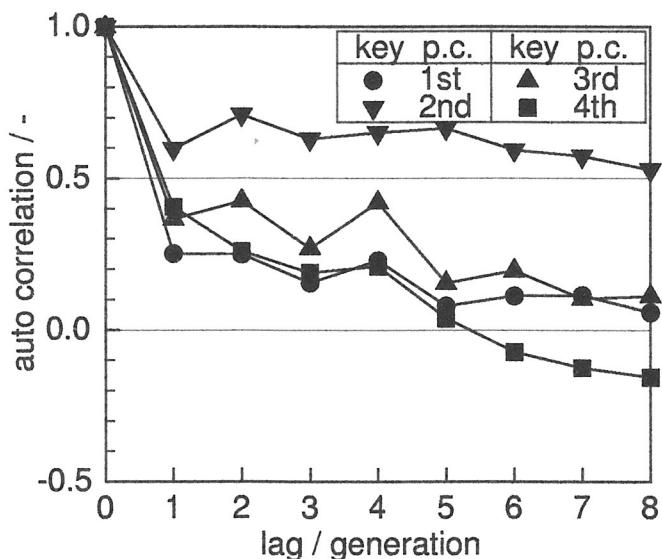


Figure 4.1: スレッド 3 のスコア自己相関係数

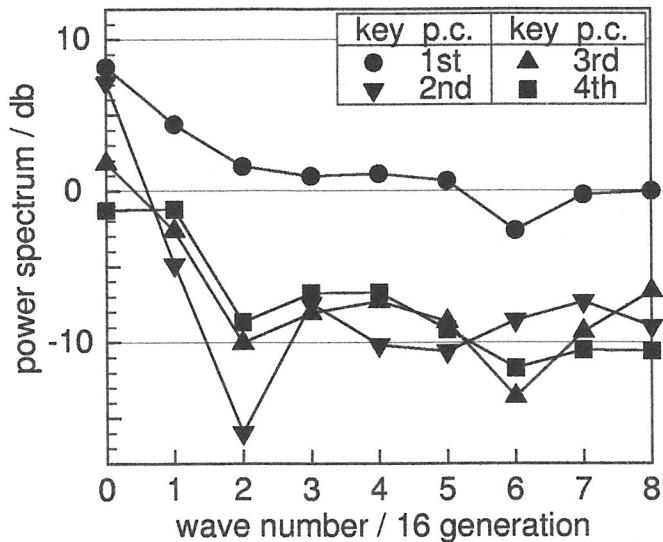


Figure 4.2: スレッド 3 のスコアパワースペクトル

4.3.2 スレッド 3 の解析結果

解析は、固有値 1 以上を示した 42 の主成分について行った。以下、固有値の大きい 4 主成分に関するデータを紹介する。キーワード出現頻度の主成分分析結果を表 4.4 に示す。第 1 主成分は記事の長さに対応するもので大きな固有値を示す。第 2 主成分は「行、論、的、社会」等の論理に関わる語句が高い主成分負荷を示すのに対し、「関西弁、語、方言、礼、失、使、言葉」等の言語表現に関わる語句が低い主成分負荷を示す。第 3 主成分は、「情報、記事、投稿」といった語句が高い主成分負荷であるのに対して、「社会、一般、関係」等の語句が低い側に現れており、コミュニケーションを、そこで得られる情報に重点をおくか、人間関係に重点をおくかの違いを表す軸と考えられる。第 4 主成分は、「判断、自分、発言」等のキーワードが高い主成分負荷を示す一方、「情報、例」等のキーワードが負の主成分負荷を示しており、主観性を尊重するか、客観性を尊重するかを表す軸と考えられる。

スレッド 3 の各スコアの自己相関係数を図 4.1 に示す。自己相関係数のラグ 1 の値はいずれも正の値を示し、フォローの対象となる記事と類似する用語を用いたフォローアップがなされていることを示す。

第 2 主成分の自己相関係数は、他の主成分の自己相関関数と異なり、

Table 4.5: サブツリー内外での主成分スコアの平均値(括弧内は標準偏差)

| 平均範囲 | 記事数 | 第1主成分スコア | 第2主成分スコア | 第3主成分スコア | 第4主成分スコア |
|------|-----|----------|-----------|-----------|----------|
| 内部 | 176 | 3.9(5.8) | -1.6(3.5) | -0.1(1.1) | 0.0(1.8) |
| 外部 | 397 | 2.9(4.2) | -0.1(1.3) | 0.3(1.7) | 0.1(1.3) |
| 全体 | 573 | 3.2(4.8) | -0.5(2.2) | 0.2(1.5) | 0.0(1.5) |

ラグ数の増加に伴う低下が少ない。これは、一つのスレッド中に、第2主成分に関する性質の異なるサブツリーが存在していることを示唆する。第2主成分は、「関西弁」などの言語表現に関するキーワード低い主成分負荷を示す。最初に関西弁に言及した記事[16]以下のサブツリーとそれ以外にスレッドを分離し、それぞれに属する記事のスコアの平均値を求めた結果、表4.5に示すように、両者で第2主成分スコアに大きな差が認められた。自己相関係数が計算される議論のパスの大部分はサブツリーの内外いずれか一方の側にあるため、第2主成分スコアの自己相関係数は高く安定した値を示したものと考えられる。

一つのスレッドの内部に異なる性質のサブツリーが含まれる場合、これを分離して解析することも考えられる。しかし、一連の議論がさまざまな論点を含むことは一般的であり、出現するキーワードが異なるだけではスレッドを分離して解析する理由にはならないと考え、スレッドの分離は行わなかった。

第3主成分の自己相関係数は、ラグ2を周期とする波打ちを示す。これは、議論の過程で第3主成分スコアの高い記事と低い記事が交互に投稿されていることを示し、対立の存在を示唆する。自己相関関数をフーリエ変換して得たパワースペクトルを図4.2に示す。図の横軸は16世代あたりの波数を単位とし、波数8は2世代周期を意味する。第3主成分のパワースペクトルは、2世代を周期とする点で増加しており、自己相関係数のラグ2を周期とする波打ちに対応している。

振動が観察された第3主成分の意味を把握するため、第3主成分スコアの最も高い5記事と最も低い5記事(これらは直接対立しているものではない)から抽出した一文を以下に示す。文の選択基準は、特徴的な第3主成分負荷を示す15キーワード²のいずれかが初出する、まとまりのある文とした。

第3主成分スコアの高い記事

- まず、「現在、実例が多すぎて情報が少なすぎる」とは私は思い

²該当する部分に下線を引いた。

ません。 [7]

2. 要するにかのパラグラフでは、きしもとさんの「実例が多すぎて情報が少なすぎる」という主張が、きしもとさんの主觀でしかないということを書きたかったわけです。 [6]
3. 逆に質問しますが、堂園さんや私が情報を提供しているから、end行³をつけるのですか？[38]
4. 例えば、Message-IDが変ですね。という指摘であれば、「(元記事の)Message-IDが変である」という情報が得られたわけです。 [19]
5. 私の返答を期待していらっしゃたようすで（また、前述の私の記事が届いていらっしゃらないようなので）念の為、引用しておきます。 [20]

第3 主成分スコアの低い記事

1. 確かに、学校で教えてくれることなんて実社会で役に立たないと言われることが多いですが、「論理学」は結構実社会でも役に立ちますし、普通に対話する時の基底になっていることが多いですから、[34]
2. 一般社会とfjとの違いの中で、客観的に捉えられるものだけでもこのくらい列挙出来ます。 [37]
3. つまり、ここで言いたいことは、「fj」と「一般社会」の差異は、コミュニケーションの場という観点から見た場合何ら変わりがないという意見があるんじゃないかという訳ですよね？[35]
4. 「fj」が「一般社会」の一部であるからと言って「fj」に於ける証明が「一般社会」のどこでも通用するという結論は導き出せないと思いますが違いますか？[36]
5. 「一般的な」とか「普通は」とかいう場合の一般的／一般的ではない、普通／普通ではないの基準と境界線を考えずに常識を議論するのも問題があると思います。 [40]

³end行に関しては次節で解説する。このスレッドでも、初心者に対する不親切の一例として取り上げられている。

第3主成分スコアの高い記事は、情報の観点にたつ議論であり、第3主成分スコアの低い記事は、一般・社会という観点にたつ議論である。第3主成分スコアの2世代を周期とする変動は、情報伝達に注目する主張と、社会常識に注目する主張が交互になされていることを示し、一方を重視する立場と他方を重視する立場の間で対立が生じていることを示唆する。

このスレッドに含まれる記事から読み取られる対立点は、他者との良好な関係を重視するか、正確な情報を重視するかという点である。他者との良好な関係を重視する論拠は社会常識に求められており、これは、振動が認められた主成分の意味と良く対応している。

4.4 用語に関する議論

用語に関する議論も *fj.news.usage* でしばしば行われる。「レス」等のBBS用語がネットニュースで不用意に用いられて議論される例が多い。この他に、差別用語、他人を傷つける言葉、関西弁等も話題とされている。用語に関する議論のほとんどは他の話題から発展したものであり、他の多くのスレッドにも、言葉の意味に関する議論が含まれている。用語を主な話題とするスレッドの振動強度は7~8dbと比較的高い値を示している。

BBS用語を巡る対立は、限られたメンバーで構成される仲間社会としてのBBSの文化と、学術ネットワークの上に発展し、開かれた社会を自認するネットニュースの伝統的文化との対立と考えられる。仲間集団においては、仲間内だけで意味の通ずる陰語を使用して、相互の絆を強め合う傾向がみられる。一方、開かれた場においては一般的に通用する言葉が求められ、用語の明確な定義が求められる。

用語「レス」は *Nifty* 等のBBSでしばしば用いられる言葉であり、一般に他人の発言に対する「レスポンス」の意味で用いられている。ネットニュースで用いられている同じ意味の用語は「フォローアップ」であり、用語「レス」を用いるものに対し、意味が通らないといったクレームが付けられる場合が多い。このようなクレームは、ネットニュースの側の閉鎖性とも感じられるが、用語「レス」の意味がはっきりしないとの指摘には、以下のような合理的理由もある。

- ネットニュースでは、メールによる返答を「リプライ」、ネットニュースによる返答を「フォロー(アップ)」と呼んで、明確に区別している。

- Nifty にも、同様の区別はある。但し、掲示板上への返答は「コメント」と呼ばれ、RES コマンドはメールによる用いられており、「レス」をメールによる返答と解釈する人もいる。
- ネットニュースや BBS において、他の記事への返答記事の表題に “Re:” という文字列が付けられるのが一般的であり、これを「レス」と勘違いしている人がいる。“Re:” は「…の件」といった意味のビジネス用語から派生し、ネットニュースの規約では、デフォルトのフォローアップ記事の表題として、元記事の表題に “Re:” を付したものと定めている。(元記事の表題が “Re:” で始まる場合はそのままとする。)

用語「ホームページ」は、ウェブ文書の入口のページを指す意味で本来は用いられている。しかし、ウェブ文書全体や、これを構成する各々のページも「ホームページ」と呼ぶ例も増えており、更にこれを簡略化した「HP」などの用例も増加している。

軽い意味を意図して使われた他者を非難する言葉が、強い意味に受け取られて紛糾を招く例も散見される。見知らぬ他者からの批判は、意図された以上に強い意味に受け取られる傾向がある。仲間集団を指向したコミュニケーションにおいても、電子的コミュニケーションを円滑に進めるためには、一定の表現技術が要求されるといえる。

4.4.1 スレッド 4 の読解結果

スレッド 4 は「普遍」と題する記事で開始された記事数 574 件からなる解析範囲で 4 番目に大きいスレッドである。この話題は、哲学のニュースグループで行われていた議論の過程で、「ホームページ」「レス」等の用語を用いた者に対し、その使い方は誤用であるとの指摘がなされ、これらの用語を用いることの是非を巡って議論がなされた。この際に、ネットニュースにおける言葉の使用方法と、誤用を指摘することの是非について議論するのに敵した `fj.news.usage` にニュースグループを移して用語に関する議論が進められた。

このスレッドにおける議論の開始部分を以下に示す。「レス」や「ホームページ」は日本語として定着しているかという点で議論が開始されている。

```
「普遍」(Re: Science and Human)
[4] +2,574 dummy dummy <yutaka-1407981119520001@laputa.msi.co.jp>
[4.2] +1,569 dummy dummy <60esu0$e9$1@icpc05.icpc.fukui-u.ac.jp>
```

```

[4.2.1] +2,568 usage/19980714-42 yutaka@laputa.msi.co.jp
        <yutaka-1407982033250001@laputa.msi.co.jp>
(用語「レスに関して」) 疑問に感じる人が他にも沢山いるのですね。良かった。
[4.2.1.2] +5,565 usage/19980715-38 saka@probabil.fuee.fukui-u.ac.jp
        <SAKA.98Jul15161257@probabil.fuee.fukui-u.ac.jp>
「テレビ」とか「トランプ」とかは立派な日本語であって、「レス」も堂々その仲間に最近入ったわけです。
[4.2.1.2.5] +2,555 usage/19980715-41 ohta@src.ricoh.co.jp
        <6oho4m$18i@ns.src.ricoh.co.jp>
「新しい」用法を無条件に受け入れてしまうのも賢いことではありません。
[4.2.1.2.5.2] +1,547 usage/19980715-51 kuno@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp
        <6ohtsh$3n4@utogw.gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp>
というわけで、「すべての Web ページをホームページと呼ぶのはやめて頂きたいと希望します。」
[4.2.1.2.5.2.1] +6,546 usage/19980716-25 saka@probabil.fuee.fukui-u.ac.jp
        <SAKA.98Jul16113312@probabil.fuee.fukui-u.ac.jp>
でもね、web page のこと日本語で「ホームページ」って呼ぶんじゃないですか？

```

上記最期の記事には 6 件のフォローがなされており、そのうち 2 つのフォローが大きなサブツリーを形成している。

その一つは、90 件の記事からなるもので、「レス」や「ホームページ」を誤用というのは、英語を習い始めた中学生が得意になっているのとたいして変わらないとの比喩と、言語学者がこの用法はおかしいという比喩とが対立している。比喩が妥当か否かをめぐっていくつかのやりとりがなされている。このサブツリーにおいては、匿名投稿者からの「俺は仕組みなんか知りたくないんだよ」とする暴言的投稿がなされ、インターネットにおける約束ごとの重要性を指摘する意見が投稿されている。なお、この手の暴言記事にはフォローするのは止めようとの呼びかけもなされ、暴言投稿以下には 14 件の記事からなるサブツリーを形成しただけで終っている。

第二のサブツリーは 447 件の記事からなる大きなもので、日本語として定着しているとの根拠に週刊誌の記事に使われているとの指摘がなされ、週刊誌の記述の正しさを巡っていくつかの議論がなされている。更にこの下に形成されたサブツリーは、比較的議論の本質的部分が良く出ていると思われる所以、これを抜粋して以下に引用する。

```

[4.2.1.2.5.2.1.6.1.3.1.3.2.2.1.3] +1,221 usage/19980720-13 K.Hagiwara@gu.edu.au
        <35B2D43E.9C242404@gu.edu.au>
「日常用語」になっているならだれも文句は言うべきでないと...そういう主張なんでしょうか。
[4.2.1.2.5.2.1.6.1.3.1.3.2.2.1.3.1] +2,220 usage/19980720-20
        saka@digcode2.fuee.fukui-u.ac.jp <6oumem$8o1$1@icpc05.icpc.fukui-u.ac.jp>
哲学論議の中で用いられたネット用語の俗語ですので、めくじら立てるのはおかしいという意見です。
[4.2.1.2.5.2.1.6.1.3.1.3.2.2.1.3.1.2] +1,199 usage/19980721-01
        K.Hagiwara@ais.gu.edu.au <35B36A31.7B38@ais.gu.edu.au>
net news というコミュニティーは誰にでも開かれた場として存在するわけで、そこでのコミュニケーションにはできるだけ plain な言語を使うべきだというのが私の「主張」です。
[4.2.1.2.5.2.1.6.1.3.1.3.2.2.1.3.1.2.1] +6,198 usage/19980721-24
        saka@digcode2.fuee.fukui-u.ac.jp <6p17oq$4cv$1@icpc05.icpc.fukui-u.ac.jp>
場違いな「厳密さの強要」は必要がないだけでなく、円滑なコミュニケーションを妨げる危険があり、望ましくないと思います。
[4.2.1.2.5.2.1.6.1.3.1.3.2.2.1.3.1.2.1.5] +2,58 usage/19980722-72 koui@edit.ne.jp

```

<kou1-2207981954150001@edit.ne.jp>
指摘されるのを極度に嫌う人って多いのでしょうか？ 私などはその後「一生の恥」をかかずに済むので喜んでしまうのですが。
[4.2.1.2.5.2.1.6.1.3.1.3.2.2.1.3.1.2.1.6] +1,99 usage/19980721-54
yashiki@kr.m-kagaku.co.jp <YASHIKI.98Jul21152833@argon.kr.m-kagaku.co.jp>
NetNews のように記事の到達に即時性が無い場合、できるだけ、補足説明が不用な記事を書くのが自然ではないですか？
[4.2.1.2.5.2.1.6.1.3.1.3.2.2.1.3.1.2.1.6.1] +5,98 usage/19980721-57
saka@digicode2.fuee.fukui-u.ac.jp <6p2hpc\$h9k\$1@icpc05.icpc.fukui-u.ac.jp>
今まで「ホームページ」という語の意味の誤解でどういう「深刻な」誤解が fj で生じたことがあるのですか？
[4.2.1.2.5.2.1.6.1.3.1.3.2.2.1.3.1.2.1.6.1.5] +1,93 usage/19980722-08
western@t3.rim.or.jp <6p3ai3\$041\$1@news.t3.rim.or.jp>
ホームページでないページを「ホームページ」と呼称するのは、私にとっては十分に深刻な誤解をまねくと思います。
[4.2.1.2.5.2.1.6.1.3.1.3.2.2.1.3.1.2.1.6.1.5.1] +5,92 usage/19980722-48
saka@probabil.fuee.fukui-u.ac.jp <SAKA.98Jul22171214@probabil.fuee.fukui-u.ac.jp>
「ホームページ」というのは、*今の日本語で * web pages 一般を指すのです。日本語で「ホームページでないページ」とは、はてどういう意味でしょうか？

このスレッドは、話題が発散することなく、元来のテーマが掘り下げられるという経過を辿った。両者の主張をまとめると以下のようになる。
「レス」，「ホームページ」の乱用に反対する立場

- 厳密にいえば誤用である。
- 誤用との指摘を受けると知識が増えて喜ばしい。
- ネットニュースというコミュニティは開かれた場であり、plain な言語を使うべき。
- ネットニュースは即時には到達しないので、誤解を招きにくい表現とすべき。
- 新しい用語法を無条件に受け入れるのも賢いことではない。
- 週刊誌に書かれていることが正しいわけではない。

「レス」，「ホームページ」の使用を容認する立場

- 外来語と同様、既に日本語として定着している。
- 週刊誌などでも、「ホームページ」は一般的に使用されている。
- ウエブに関する議論でもないところで使われるなら、俗語も許されるだろう。
- 場違いな厳密さの強要は円滑なコミュニケーションを妨げる危険がある。
- これが誤用であるとしても、深刻な誤解は生じていない。

Table 4.6: スレッド 4 の主成分分析結果

| 主成分 | 固有値 | 意味 (+) | 負荷の高いキーワード例 |
|-----|---------------|------------|--|
| | 累積寄与率 | 意味 (-) | 負荷の低いキーワード例 |
| 第 1 | 20.7 14.5% | 長さ | 人, 意, 意味, 的, 性, 言葉, 用, 一, 特, 見, 場合, 文, 話, 以, 論 時間, 車, 週, 誌, 刻, 流, 外, 記, 惠, 相手, 誤, 足, 様, 取, 度 |
| 第 2 | 5.1 18.0% | 主觀性 客觀性 | 自分, 理, 文, 事, 間, 点, 相手, 関係, 全, 最, 意見, 指摘, 論, 持, 力 広, 指, 状, 一般, 用法, 現, 用, 定着, 意味, 少, 混乱, 誤用, 言葉, 区, 正 |
| 第 3 | 4.8 21.4% | 知性 感性 | 指摘, 関係, 論, 議論, 例, 学, 呼, 性, 日, 点, 特, 然, 関, 要, 場合 聞, 最, 自分, 知, 識, 間, 人, 大, 見, 違, 意, 持, 結, 事, 当 |
| 第 4 | 4.0 24.2% | 現在 歴史 | 区, 別, 呼, 時, 間, 言語, 時間, 刻, 会, 車, 車, 然, 表, 気, 分 無, 読, 明, 誤用, 一般, 行, 坂口, 得, 足, 記事, 指摘, 主張, 用, 取, 説 |

4.4.2 スレッド 4 の解析結果

主成分分析結果を表 4.6 に、パワースペクトルを図 4.4 に示す。第 3, 4 主成分に振動がみられ、特に、第 3 主成分の振動が顕著である。第 3 主成分スコアの高い 5 記事と低い 5 記事の、第 3 主成分に特徴的なキーワードが初出する文は以下の通りである。

第 3 主成分スコアの高い記事

1. 例えば、ある「間違い」があったとき、間違いがあるという事実の 指摘 というのは、論理的に成り立ちます。けれども、その 指摘 をする 必然性 はどこにあるのでしょうか。[28]
2. 以下の実例の 場合 はどうでしょうか？[1]
3. この記事の本旨は「ホームページ」という言葉が誤用かどうかとは 関係 ないつもりですので、坂口さんから見てこの記事中で 重要 でなければ、この部分について続ける 場合 は別の話として頂けるとありがたいです。[14]
4. この 例 の 場合 は「どこに載っているか」が 関心事なのであって、それが「ホームページと 呼ばれる 部分に属するか否か」は 主要な論題ではないからです。[29]
5. ネット上の会話であっても、その内容が井戸端会議だったり数学論議だったり哲学論争だったり歴史談義だったりする 場合 は、区別する 必要 はまずないと思います。[25]

第 3 主成分スコアの低い記事

1. どうせ同じ物体を 見ていても視点の位置で 見える形は 違うんだからそれを「偏見」などといってしまうのが、まあ 知ってるものの優位性の 見せつけというかなんというか。[21]

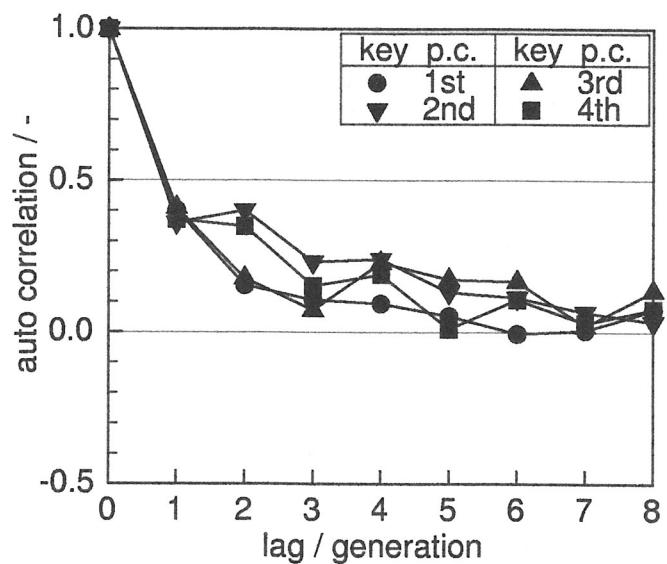


Figure 4.3: スレッド 4 のスコア自己相関係数

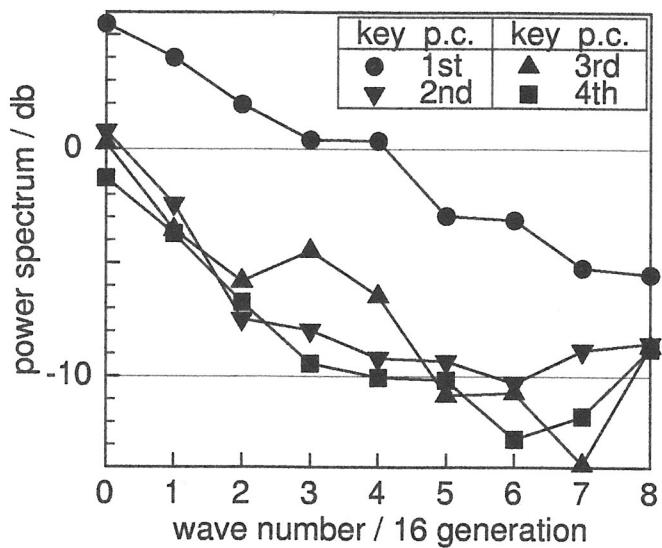


Figure 4.4: スレッド 4 のスコアパワースペクトル

2. WebPage全般を指す意味でつかってはいる環境もあるわけです。これは事実ですよね。[22]
3. 「しょうもう」や「かくらん」で混乱を生じたという話は聞きました。[2]
4. この議論がこれほど紛糾する理由の一つに、坂口さんのおっしゃる「広く定着した」の意味が不明確であることがあるのではないでしょか？[3]
5. 複数の意味があると周囲が認識すれば、混乱は収まると思います。[4]

第3主成分スコアの高い記事と低い記事は、用語を正確に使うべきか否かで別れているわけではない。第3主成分スコアの高い記事は、論理性と具体例に基づく議論であり、第3主成分スコアの低い記事には感覚的な発言が目立つ。用語を正確に使うべきか否かの軸と、感性軸の分離は、誤用の指摘に際しても感性的要素（例えば、異文化に対する反感）が作用している可能性を示す。

第4主成分スコアの高い記事と低い記事を以下に示す。第4主成分スコアの高い記事は、定着している誤用について「列車と電車」、「時間と時刻」などの例をあげて説明するものが多く、第4主成分スコアの低い記事には、誤用を指摘する必然性を論じた記事が多い。

第4主成分スコアの高い記事

1. コンピュータ言語だったら、もちろんそうでしょう。でも、人間の自然言語というのは、そうではないと思います。[26]
2. ディーゼル駆動の列車が電車でないのは事実ですよね。[23]
3. この例では、「18時現在」とかいうのと、同じ意味で使われています。[30]
4. 意味分節を相手の言語に合わせなければならぬからです。[31]
5. 別に変わらないんじゃなくて変える必要がないんですよ。[24]

第4主成分スコアの低い記事

1. 「広く定着した」の意味が不明確であることがあるのではないでしょか？[5]

2. この 記事 の本旨は「ホームページ」という言葉が 誤用 かどうかとは関係ないつもりですので, [15]
3. この 誤用 は, 私も使っています。[27]
4. 「間違い」は「指摘 するという 行為」の立派な動機ですよ, って自分で言っている(ことになっている)でしょ。[39]
5. 間違いがあるという事実」と, 「間違いを 指摘 しなければならない事情」とは全く異なります。[32]

分析の結果, このスレッドにおいて振動は検出されたものの, 読解によって認められた対立点と主成分分析によって検出された振動成分の意味とは一致していない。スレッドの中核をなす議論においては, 用語の誤用を指摘することは正当であるとする主張と, その場で理解できる程度の誤用であれば, これを指摘することはかえってコミュニケーションを阻害するとする主張が交わされている。しかし, 双方の主張を行う記事が, 相手の主張を良く把握した上で書かれており, 機械的検出手法が前提としている議論のすれ違いという意味での対立は生じていない。

一方, 中核的なバスの周囲の枝に相当するバスにおいては, いくつかの振動が発生している。これは, このスレッドの中心をなす議論が, 主張を異にするが知性的な論者による協調性の高い議論であり, これに, 感性的な反応を示した短い枝がいくつか付随するという形態を持つためと考えられる。周囲の枝において議論のすれ違いが生じた理由として, 「レス」に関してはその用語をネットニュース上で用いることの妥当性に関しては以前より議論がなされており, これを擁護する記事や誤用を指摘する記事に対して, 個々の実例や表現に触発された, 感性的な記事が投稿されたのではないかと思われる。

4.5 end 行に関する議論

マイクロソフト社から配布されたニュースリーダ (MSIN) は, “end”のみからなる行 (end 行と呼ぶ) を含む日本語メッセージを表示する際に文字化けを起こす。この現象はニュースリーダのバグであり, MSIN 利用者の側で対処すべき問題とも考えられる。しかし, end 行の使用を批判する主張もなされ, いくつかの大きなスレッドを形成している。

end 行をめぐる議論の内容にも, 文化的対立が認められる。end 行を記事に含めることを問題なしとする主張はインターネットの規約 (RFC)

を基礎におく立場であって、普遍性・開放性を目指すインターネットの文化と考えられる。一方、記事に end 行を含めるべきでないとする主張は、多くの人が使うニュースリーダで、特定の記事に問題が起こるなら、それは記事が悪いという主張であり、普遍性よりも利便性を目指す商業文化に属すると考えられる。

この二つの立場は、end 行の評価は正反対である。しかし、それぞれの論理はきわめて正当であり、差は唯一、普遍性と利便性のいずれを優先すべきかとの、正解のない間に発している。end 行を扱うスレッドの振動強度は 3~9db と広く分布している。振動強度が高い値を示したスレッド 5 は、end 行を用いる人達に対抗して、end 行を含む記事を全文引用して再投稿することを進める主張に始まり、これを迷惑とする人々との間で議論が激化したものと考えられる。スレッド 15 は、MSIN に代わるニュースリーダが配布された後の議論であり、比較的冷静な分析記事を多く含むために、低い振動強度を示していると考えられる。

4.5.1 スレッド 6 の読解結果

スレッド 6 は、記事に end 行を用いる理由を教えて欲しいとの質問に始まる記事数 456 件のスレッドで、これに対するフォローが、記事数 65 件のサブツリーと、記事数 381 件のサブツリーを形成している。

第一の小さなサブツリーは、署名の一部であるとの回答に続くもので、MSIN の誤動作を知らずに end 行を用いているならともかく、問題点を知りつつ、意図して MSIN の欠陥をつつく行為は、文句をいわれても仕方ないとの方に向に議論が進んでいる。

第二のサブツリーは、381 件の記事からなる大きなもので、end 行に反対する特定の投稿者と、これに反論する多くの者の間で議論がなされており、一つの長いパスに多数の枝をもつツリー形状となっている。

このサブツリーでは、まず、記事中に end 行を用いることに理由は必要でなく、MSIN の誤動作が広く知られるようになる以前から end 行を含む記事は投稿されていたとの指摘がなされる。これらの議論の過程で、他人の記事に加工を施し、end 行による文字化けが他のニュースリーダでも再現する記事が投稿され、多数の非難を集め。これに対する反論として、end 行を入れる行為は MSIN ユーザを馬鹿にする行為であり、こうした行為がそれなりの反発を招くことは当然であるとの主張がなされる。

更に、ニュースリーダに問題があると知りつつ、そのニュースリーダを用いているなら、ある記事が読めなくともあきらめるか、意地悪な人だと思っていれば済む話であって、他人に end 行の使用を止めさせるこ

Table 4.7: スレッド 6 の主成分分析結果

| 主成分 | 固有値 | 意味 (+) | 負荷の高いキーワード例 |
|-----|---------------|--------------|---|
| | 累積寄与率 | 意味 (-) | 負荷の低いキーワード例 |
| 第 1 | 17.6 15.5% | 長さ | 思,記事,人,事,考,言,私,意見,出,目,違,的,一,当,他 日本語,嫌,動,馬鹿,初,文字化,田,時田,話,使,化,句,方法,力,為 |
| 第 2 | 4.7 19.6% | 指摘方法 感性的 | 字,引用,文,文字化,部,変,示,單,以,部分,定,上,作,性,指摘 事,方,然,惡,議論,言,人,自,意地悪,良,嫌,入,他,間,容 |
| 第 3 | 3.6 22.8% | 行為の意味 感性的 | 知,出,行,來,方法,為,見,作,質問,別,実,返,力,確,理由 良,意地悪,少,主,議論,目,的,意見,手,文字化,無,思,多,數,考 |
| 第 4 | 3.6 25.9% | 感性的 理由説明 | 自分,考,容,内,勝手,氣,言,大,時田,惡,日,違,論,馬鹿,他 的,定,意地悪,理由,事,知,少,自,良,多,者,行,場合,方法,主 |

とは難しいのではないかとの指摘がなされ、一方、意地悪な人が多いというのは、それはそれで問題だし、止めて欲しいということも正当であるとの主張もなされる。

ここで、他人の迷惑を考えるべきとの点に議論が移り、end 行に反対する特定投稿者の行動に、ノイズをばらまくものとの批判が集まる。特に、文字化けを再現するように他人の記事を加工して投稿した行為は、誰にも読めない記事を出すものであり、また、著作権上も問題があると指摘される。このあたりで、end 行に反対する特定投稿者の記事にも弱気の発言が目立ち、この投稿者の投稿行為自体に対する批判者側からの助言的投稿(自分の誤りを認めることも必要、等)がいくつかなされて議論は収束している。

4.5.2 スレッド 6 の解析結果

主成分分析結果を表 4.7 に示す。第 2 主成分は、文字化けを指摘する方法に関する記事が高いスコアを示す一方で、感性的反応を内容とする記事が低いスコアを示す。第 3 主成分は end 行を付けるという行為の意味を断定的に論じる記事が高いスコアを示す一方、普遍性の高い規約を尊重して end 行の善悪判断を留保する主張が低いスコアを示している。第 4 主成分は、「自分、勝手」等の語句を含む感性的記事が高いスコアを示す一方で、end 行を付ける理由を述べた比較的知性的な記事が低いスコアを示している。

自己相関係数を図 4.5 に、パワースペクトルを図 4.6 に示す。第 3 主成分に 2 世代を周期とする顕著な振動が認められる。なお、第 2 主成分の振動は、微弱であり、ノイズとの識別が難しい。

振動が認められた第 3 主成分スコアの高い 5 記事と低い 5 記事の、特徴的な主成分負荷を示すキーワードが初出する文を以下に示す。

第 3 主成分スコアの高い記事

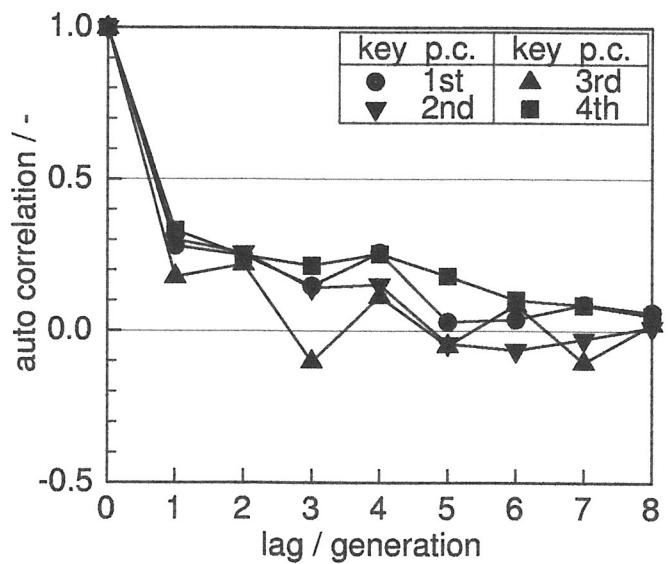


Figure 4.5: スレッド 6 のスコア自己相関係数

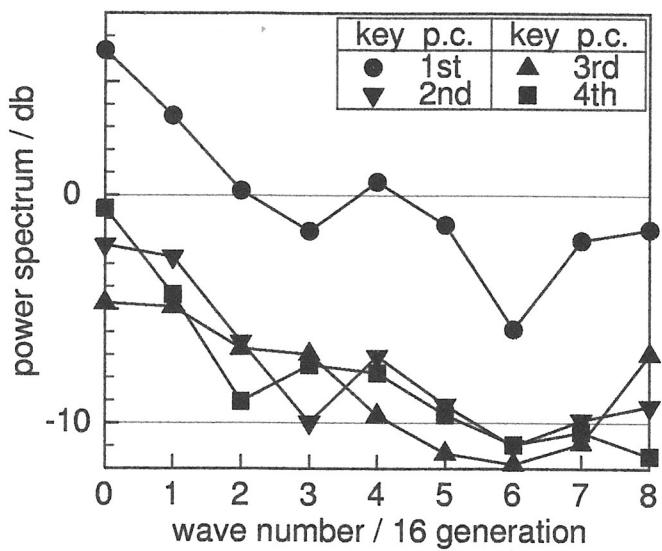


Figure 4.6: スレッド 6 のスコアパワースペクトル

1. 新規の News ユーザの教育にローコストな 方法 を取る事も、異論があるわけではありません。 [12]
2. 著作権法でいう「著作物」とは文章とは限らないのですよね？ [9]
3. しかし、原因を 知 ろうとアクションを起こしたものにまでその 行為 を行うというのは、メッセージとしての意味ではなく、反発を求めての 行為 としか思えません。 [10]
4. 問題は、ここで指摘しようとしている end行 の記事は「その end行 の記事の参照元である 質問 記事の投稿者」が「第三者からの情報を得ない限り、読めない事」を 知 っていることにあります。 [13]
5. バカだのアホだのいわれれば、なにがしかの反応があるのは不思議のない事で、end行 を入れる 行為 にも、似たような事が言えるわけです。 [11]

第 3 主成分スコアの低い記事

1. 『読めない理由は「自分」にあるから』と 考 える人でも「意地悪 が 主目的 であった」と 考 えるものなのでしょうか？ [18]
2. うーん、「おちゃらける」＝「悪い」とは言いませんが、決して「誉められる ような事ではない」と 思 いますから、この 議論 に於いては慎んだほうが 良 かったのでは？ [17]
3. 「意地悪」に限らず、意味のない記事を投稿してもらいたくはないと言ふことは 良 くわかります。 [41]
4. なんというか、この人は 思 いこみが激しいというか/自分なりの解釈を全体の 考 えと勘違いするというか… [8]
5. 週末、この件について 考 えてみたのですが、やっと自分の 意見 がまとまってきた。 [33]

第 3 主成分スコアが高い値を示す記事の多くは同一の人物から投稿されている⁴。この投稿者は、スレッド 6 を構成する 456 記事の約 20% に相当する 94 記事を投稿しており、その投稿姿勢はスレッド 全体の特性に影響を与えていていると考えられる。その投稿内容は end 行に批判的な立場で

⁴ 第 3 主成分スコアの上位 13 位までの記事は、全て同一人物が投稿している。

あり、主張の異なる投稿者に対する執拗な批判がなされたために第3主成分の振動を拡大している可能性がある。

第3主成分スコアの低い記事は、「意地悪」という感性的用語の出現頻度も高い。しかし、これらの記事では「意地悪」というキーワードをend行非難に対する反論に使用しており、普遍的性を重視し判断に慎重さを求める傾向が認められる。

本手法で振動が検出された主成分は、「MSINユーザに読めないend行を含む記事で MSIN の問題点を指摘するのは不当である」とする、実用的效果を重視した強い主張と、普遍性を重視して end 行を不当とする判断に慎重さを求める主張とを両極端とする成分であり、一人の多量投稿者の寄与が高いものの、スレッドの内容から読み取られる対立点にはほぼ対応する。

4.6 振動の観察されない例

4.6.1 スレッド 1 の読解結果

スレッド 1 は、「Quotation of signature」と題する記事に始まる、解析対象内で最大のスレッドである。このスレッドは、フォローアップに際して自分の記事の署名部分まで引用された者が不快感を表明したことにより始まり、正当な引用の方法、fjにおけるマナー、あるいは他人を「無神経」と評することの是非など、さまざまな点について議論が行われた。

このスレッドで生じている対立は、引用に際して署名部を含めることの可否、及び、他人の行為を「無神経」と呼ぶことの妥当性である。この議論が長期にわたって続いた背景には、感情的反感が存在することは明らかである。すなわち、署名部を引用を非とする第一の論拠はそうされることが「嫌だ」という感情的反発に基づいている。一方、署名部を引用して非難された側の、他人に「無神経」と決めつけられたことに対する感情的反発が反発もうかがえる。

しかしながら、このスレッドに含まれる記事を読むと、「無神経」という用語に対する認識の相違など、いくつかの相反する主張が含まれている。しかしながら、これらの感情的動機は、不毛な対立には至っていない。これは、感情的反発を始点としつつも、相互に相手の主張を理解する形で議論が行われており、一般社会の常識、法等に論拠を求め、また、ネットニュースにおけるルールの見直し、新たなルール作りも試みられるなど、普遍化を意識した議論展開が支配的であったためと思われる。

Table 4.8: スレッド 1 の主成分分析結果

| 主成分 | 固有値 | 累積寄与率 | 主成分の解釈 (記事の長さ) | 負荷の高いキーワード例 | 負荷の低いキーワード例 |
|-----|------|--------|-------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 第 1 | 20.0 | 13.3 % | 感性的：知性的（法律） | 引用，思，私，考，一，記事，上，無神經，嫌，人，氣，今，私，圓 | 日，説，僕，誰，杏，理解，常表示，第，十，著作者名，案，用 |
| 第 2 | 6.6 | 17.7 % | 議論の方法：内容 | 性，範，圓，引用，可能性，不 | 著作者名，質，田，中，名，表示 |
| 第 3 | 3.6 | 20.1 % | 主觀性：客觀性 | 趣，圓，田，署名，間，野，質 | 氣，付，無神經，名，他人，人 |
| 第 4 | 3.3 | 22.3 % | | | |

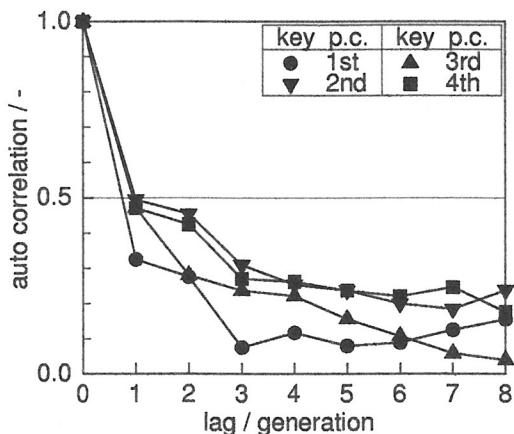


Figure 4.7: スレッド 1 のスコア自己相関係数

4.6.2 スレッド 1 の解析結果

主成分分析結果

主成分分析結果を表 4.8に示す。第 2 主成分は「無神經，嫌」といった感性的表現に用いられるキーワードが高い主成分負荷を示す一方、主成分負荷の低いキーワードに著作権法に関する用語が並ぶことから、感性対知性の成分と考えられる。第 3 主成分は、「質問」等、議論の方法に関するキーワードが高い負荷を示す一方で「可能性、判断」等の議論の内容を問うキーワードが低い負荷を示す。第 4 主成分は、「著作権法、引用」等のキーワードが高い負荷を示す一方で、「表示、著作者名」等のキーワードが低い負荷を示す。これらは、双方共著作権法に関するキーワードであるが、第 4 主成分スコアの高い記事には自らの行動を問う内容の記事が多く、スコアの低い記事には一般的的事実を紹介する記事が多いという違いがある。

自己相関係数とパワースペクトル

スレッド 1 の主成分スコアの自己相関係数を図 4.7に示す。ラグ 1 の

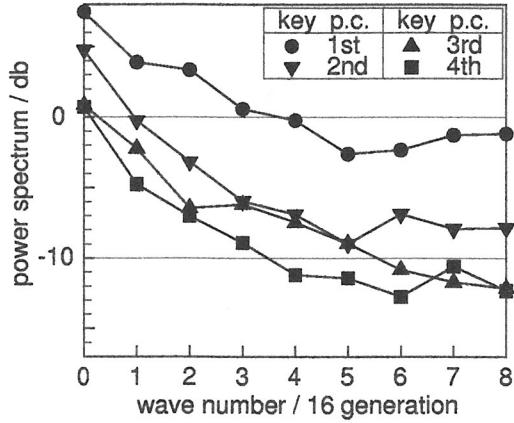


Figure 4.8: スレッド 1 のスコアパワースペクトル

自己相関係数は他のスレッドに比べて高い値を示すものの、ラグ数の増加に伴って減少しており、論点によるバスの分離は明瞭ではないと考えられる。このスレッドのラグ 1 の自己相関係数が他のスレッドに比べて高いという結果は、フォローアップがその対象とする記事と類似した用語を用いてなされている傾向を示し、互いに相手方の主張に配慮した協調的な議論がなされている可能性を示している。主成分スコアのパワースペクトルを図 4.8 に示すが、2 世代を周期とするスペクトルの上昇は認められなかった。

主成分スコアに振動が認められないという分析結果は、相互の主張を理解した議論が行われたとの読解結果と一致する。

4.7 匿名投稿

匿名投稿、あるいは偽造したアドレスからの投稿も `fj.news.usage` でしばしば議論されている。但し、これらの行為を肯定する主張は、匿名投稿者以外からは全くなされず、この話題だけでは大きな議論には発展していない。

スレッド 11 は、“REPLAY.COM”なる匿名サイト経由で投稿された脅迫的悪口を内容とする記事に始まり、匿名投稿に関する多少の議論の後、フォント表示と計算機環境の関係を扱う技術的な議論に移行した。ユーザ ID “nobody@REPLAY.COM” は複数の者に共有されているが、共通する特

徵はコミュニケーション能力の欠如であり、議論の発展に関与する例は皆無に近い。また、その記事も意味不明のものが多く、他の読者に有益な情報はほとんど含まれていない。

匿名投稿には、アドレスの偽造、匿名サイトの利用、ハンドル（ネット上のニックネーム）の使用などの形態があり、ハンドルの使用以外の匿名投稿は *fj* の規約違反と考えられている。伝統的なインターネット文化は、所属組織と実名の表示を推奨する一方、商用 BBS ではハンドル表示が多くみられる。ネットニュース上ではハンドルは実名に近い扱いを受け、それ以上の匿名性は、商業主義的インターネット文化に属する参加者にも受け入れられてはいない。

4.7.1 匿名投稿とその種類

fj が学術ネットワーク上のネットニュースであった時代には、本名と所属を明示して投稿することが一般的であった。しかし、BBS やインターネットプロバイダからの参加が増加すると、一種のニックネームであるハンドルを用いた投稿や、正体を伏した匿名投稿がさまざまな形で行なわれるようになった。これらの投稿のあるものは、内容にも問題があり、*fj* でしばしば議論の的となっている。

匿名の投稿は次の三つに大別される。

- ハンドルを用いた投稿。
- From 行を偽造した投稿。
- 匿名サイトからの投稿。

以下、これら三種類の匿名投稿について、実際に行なわれた議論を例に、内容を分析したい。

4.7.2 ハンドルを用いた匿名投稿

スレッドの内容

以下に、記事 [110] に始まる大きさ 70 のスレッドの、全ての記事につき、スレッドツリーの解析結果、及び内容の一部を示す。

```
Paradise Ambassador
[112] +10,70 usage/19961220-131 j50596@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp (HOLY)
      <J50596.96Dec20180645@e00-xs01.hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp>
極楽大使というハンドルを用いて投稿することは、何ら問題ないと思います。
```

[112.1] usage/19961221-88 "Hiroshi. Matsuoka" <lala-z@cg.NetLaputa.or.jp> <32BC00EE.5BD4@cg.NetLaputa.or.jp>

[112.2] usage/19961224-66 "Kawamoto" <Kawamoto@zzz.or.jp> <01bbf15d\$43627880\$localhost@Kawamoto.zzz.or.jp>

[112.3] +1,2 usage/19961227-64 "Ataro Mohretsu" <honinbow@po.jah.or.jp> <01bbf402\$6bcc8ca0\$6c36d4ca@honinbow.cosmo.jah.or.jp>

私(Ataro Mohretsu)は、12月25日付で、HOLY氏より電子メールで直接の謝罪を受けました。

[112.3.1] usage/19961228-46 void@merope.opus.or.jp (Kusakabe Youichi) <1996Dec28.015127.11783@merope.opus.or.jp>

[112.4] +2,3 usage/19961227-35 "Ataro Mohretsu" <honinbow@po.jah.or.jp> <01bbf3a5\$3bb52020\$localhost@lady-aquarius>

([112.3]と同一内容)

[112.4.1] usage/19961227-47 hironobu@h2np.suginami.tokyo.jp (Hironobu Suzuki) <HIRONOBU.96Dec27171351@h2np.h2np.suginami.tokyo.jp>

日本国内の訴訟ですが、パソコン通信まで範囲広げると、いくつか訴訟が行なわれています。

[112.4.2] usage/19961230-60 smatsuda@molbio.med.osaka-u.ac.jp (shuji matsu) <smatsuda-3012961939050001@molbio.med.osaka-u.ac.jp>

fjでの基準はもう少し緩くて、RFC1036的にあっていれば許容されていますから、メールアドレスがちゃんと書いてあれば良いですね。

[112.5] +1,4 usage/19961222-43 Masanori Hata <a30208@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp> <32BCB2FC.7B71@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp>

東大法学部に在籍しているような人間は、いろんな意味で(世間に對して)背負っているもの、与える影響が大きい。

[112.5.1] +1,3 usage/19961223-55 miyano@yokohama.tao.or.jp (Miyano Hiroshi) <MIYANO.96Dec23135747@cherry.yokohama.tao.or.jp>

そんなことは、fjの一般読者の知ったことではありません。当該サイトの内部で解決してくださることを望みます。

[112.5.1.1] +1,2 usage/19961223-48 Masanori Hata <a30208@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp> <32BE3ABB.E1@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp>

文面を見れば、fjの一般読者に向けた言葉じゃなくて、彼に向けたメッセージだということがわかるはずだと思うのですが。

[112.5.1.1.1] usage/19961224-27 miyano@yokohama.tao.or.jp (Miyano Hiroshi) <MIYANO.96Dec24092940@cherry.yokohama.tao.or.jp>

そのような私的な、あるいはローカルな、そしてfjの一般読者に興味のない話題はfjに投稿すべきではないということです。

<サブツリー：ハンドルとユーザIDは別である>

[112.6] +1,4 usage/19961220-109 void@merope.opus.or.jp (Kusakabe Youichi) <1996Dec20.205331.19403@merope.opus.or.jp>

「void」ってこの場合わたしのこと？わたしは「ハンドル」なんて使っていませんが...

[112.6.1] +1,3 usage/19961224-55 matznaga@pu-toyama.ac.jp <matznaga.851397489@news1.pu-toyama.ac.jp>

[112.6.1.1] +1,2 usage/19961224-59 miki@soum.co.jp (Susumu Miki) <MIKI.96Dec24204129@force.soum.co.jp>

[112.6.1.1.1] usage/19961226-88 void@merope.opus.or.jp (Kusakabe Youichi) <1996Dec26.104820.24334@merope.opus.or.jp>

<サブツリー：ルール(Message-ID)を無視する記事は非難されて当然>

[112.7] +1,5 usage/19961225-68 "Ataro Mohretsu" <honinbow@po.jah.or.jp> <01bbf270\$F3c12140\$a636d4ca@lady-aquarius>

もちろん、UsenetBoy氏と僕とは別人です。...今までの両者の投稿の中身をちょっと調べれば、すぐにわかることがあります。

[112.7.1] +1,4 usage/19961225-78 "yoshinori iwata" <gunner@nsknet.or.jp> <01bbf2a6\$d84c69c0\$5036e5ca@muggy.nsknet.or.jp>

fjのルールは「メールが届くアカウントから投稿すること」...そのルールを無視する人は無責任だというのは当然ですよね。

[112.7.1.1] +2,3 usage/19961226-46 "Ataro Mohretsu" <honinbow@po.jah.or.jp> <01bbf2fd\$2000ed80\$localhost@lady-aquarius>

honinbow@po.jah.or.jp このアドレスでメールは必ず届きます。Lady Aquariusに対する非難をしているひとがいたようですが、それは少しおかしな非難です。

[112.7.1.1.1] usage/19961226-54 kate@pfu.co.jp (KATAYAMA Yoshio)

<KATE.96Dec26165244@yamato.trad.pfu.co.jp>
 基本的なルールすら守っていないのですから、非難されて当然です。
 [112.7.1.1.2] usage/19961226-72 gami@infor.utsunomiya-u.ac.jp (Yoshitsugu KAMIMURA)
 <gami-ya023680002612962007240001@nikko.utsunomiya-u.ac.jp>
 だからきっとドメイン名 (po.jah.or.jp?) も指定しなきゃだめだって。

<サブツリー：ユーザ ID が同じならハンドルを変えて同一人物とみなされるのは当然>
 [112.8] +1,6 usage/19961220-114 yamane@in.it.okayama-u.ac.jp (Daisuke Yamane)
 <59embm\$r8m@itserv.it.okayama-u.ac.jp>
 軽薄な印象を相手に与えるようなものであれば ... 本名を伴わない文章ってのは、ちょっと不利なこともあるかな、とは思います。
 [112.8.1] +4,5 usage/19961221-36 j50596@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp (HOLY)
 <J50596.96Dec21155247@b00-xs00.hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp>
 無責任だったと悪名高い「鷹野善行」と私とを結び付けるかのような言い方をされる方がいらっしゃいます。
 [112.8.1.1] usage/19961221-48 saio@mx.tcp-ip.or.jp (KUROSE Yoshitoshi)
 <SAIOU.96Dec21191155@mx.tcp-ip.or.jp>
 上記の文章は「鷹野」時代とでも言い直せば誰も何も言わないのでしょうね。
 [112.8.1.2] usage/19961221-61 syd@tt.rim.or.jp (YOSHIDA Satoshi)
 <SYD.96Dec22011228@tama.tt.rim.or.jp>
 軽蔑されるのって「ハンドル投稿」のせいだと思います？
 [112.8.1.3] usage/19961224-31 ippei@jsk.t.u-tokyo.AC.JP (Ippei Miyata)
 <IPPEI.96Dec24120245@andromeda.jsk.t.u-tokyo.AC.JP>
 あらま。まさか、『違う』とでも言いたいの？言えるの？
 [112.8.1.4] usage/19961224-70 smatsuda@molbio.med.osaka-u.ac.jp (shuji matsuda)
 <smatsuda-2412962241090001@molbio.med.osaka-u.ac.jp>
 結び付けてるもなにも、*同じアドレス*で投稿しているのは誰？

<サブツリー：From 行に書かれているのは本名か>
 [112.9] +3,10 dummy dummy <59e5pn\$s61@sally.isc.chubu.ac.jp>
 みなさん「From:」に書かれているメールアドレスの横には本名が書かれていますよね？
 [112.9.1] +1,2 usage/19961221-91 uetake@ss.iij4u.or.jp (UETAKE Kazunori)
 <UETAKE.96Dec21120434@kira.ss.iij4u.or.jp>
 どうして、わかるのでしょうか？
 [112.9.1.1] usage/19961224-39 d95070@isc.chubu.ac.jp (kurisu_yoshiki)
 <59nmf9\$j8i@sally.isc.chubu.ac.jp>
 本名かどうかは「証明できるものはない」と言わればそれまでなのですが。
 [112.9.2] +1,3 usage/19961221-60 "無記名" (日本人は人を馬鹿にするが、
 日本人自身が馬鹿である) <32BC21BE.586D@Anonymous.com>
 Holy = 堀(さん)と名乗っていて実際には Usenet Boy さんであったりして？
 [112.9.2.1] +1,2 usage/19961222-32 minz@super.win.or.jp (^ Hiroshi Migimatsu)
 <59iqbd\$ml3@super.win.or.jp>
 GCOS に多少スペルのおかしな :-(実名が入っているくらいなんで、fj 的にはあまり問題は感じないので
 すが。
 [112.9.2.1.1] usage/19961224-40 d95070@isc.chubu.ac.jp (kurisu_yoshiki)
 <59nmf9\$j8i@sally.isc.chubu.ac.jp>
 証明はできませんが、「本名」と思われる名前とシグネーチャがありますんで、一応その部分で信用して
 おります。
 [112.9.3] +3,4 usage/19961221-35 j50596@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp (HOLY)
 <J50596.96Dec21153754@b00-xs00.hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp>
 「HOLY」と「堀」とは発音も近似しており、同一人物を表示する名称であることが社会通念上明らかと言えるので、
 [112.9.3.1] usage/19961221-50 kimura@ozawa.elec.keio.ac.jp (Makoto KIMURA)
 <59g61n\$s3r@elecgwy.elec.keio.ac.jp>
 自分の思い込みだけで「明らか」とか書くのはやめましょうね。
 [112.9.3.2] usage/19961222-30 Hideo Ogawa <ogawacr@nn.iij4u.or.jp>
 <32BCA8EA.33C@nn.iij4u.or.jp>
 社会通念上明らかなんですか？ローマ字表記ならほりい=HORIIですよね。
 [112.9.3.3] usage/19961224-38 d95070@isc.chubu.ac.jp (kurisu_yoshiki)
 <59nls8\$j8i@sally.isc.chubu.ac.jp>
 発音が近似しているから「適性さに欠けるところはない」とは言えないよう思います。

<サブツリー：ハンドルを使うこと自体は構わない>

[112.10] +5,33 usage/19961220-117 "Ataro Mohrets" <honinbow@po.jah.or.jp> <01bbe94\$3d5d0f20\$localhost@lady-aquarius>
ハンドルを用いるということ自体は責められるべきことではないと考えます。

[112.10.1] usage/19961224-65 smatsuda@molbio.med.osaka-u.ac.jp (shuji matsuda) <smatsuda-2412961929020001@molbio.med.osaka-u.ac.jp>
こんなクロスポストを続いていると、ハンドルがどうこうという意見は誰も面白く聞かないと想いますよ。

[112.10.2] +1,2 usage/19961220-106 "Ataro Mohrets" <honinbow@po.jah.or.jp> <01bbeea3\$6aa1f720\$8136d4ca@lady-aquarius>
自己の責任において、自らのセキュリティに配慮をすべきです。

[112.10.2.1] usage/19961221-33 mackytcf@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp (Yoshikazu Makioka) <mackytcf-2112961215580001@kyu-cs.csce.kyushu-u.ac.jp>

[112.10.3] +1,3 usage/19961221-26 ishii@mail.at-m.or.jp (Kazuhiro ISHII) <59fnfngf\$2uf@rionia.at-m.or.jp>
ハンドルだけ使って本名が書いてないような記事は怪文書みたいなもんだ、ってだけでしょう。... 無責任に見えますよ。

[112.10.3.1] +1,2 usage/19961222-100 "無記名 (Usenet Boy)" <32BDA26D.2727@earthquake.com>
意見が違っていたときにメール攻めなどの暴力を振るうために投稿者に本名と実アドレスの記載をお願いしているのですか？

[112.10.3.1.1] usage/19961223-42 Kuboi Takashi <kuboi@incus.env.kyoto-u.ac.jp> <32BE1249.F60@incus.env.kyoto-u.ac.jp>
あなたのしていることは匿名、仮名の投稿ではなく、名義、所属団体の詐称にあたります。

[112.10.4] +1,7 usage/19961224-51 rip@ee.kogakuin.ac.jp (Akihiko "RIP" SHINYA) <59nqt9\$dp9@hp00.snews.kogakuin.ac.jp>
ネット上でハンドルを使うことは構わないと思いますが、内容に該当しない NewsGroup に記事を投稿するのは、やめて下さい。

[112.10.4.1] +1,6 usage/19961225-34 gami@infor.utsunomiya-u.ac.jp (Yoshitsugu KAMIMURA) <gami-ya023680002512961145530001@nikko.utsunomiya-u.ac.jp>
あと、References で引けないような Message-ID も問題ね。# lady-aquarius って po.jah.or.jp の中にある独立国？

[112.10.4.1.1] +3,5 usage/19961226-45 "Ataro Mohrets" <honinbow@po.jah.or.jp> <01bbf2fc\$f1290ba0\$localhost@lady-aquarius>
これは僕の趣味。

[112.10.4.1.1.1] usage/19961226-56 "RENCA SAKURAI" <renca055@mb.infoweb.or.jp> <01bbf307\$147122a0\$localhost@rencamly.infoweb.or.jp>

[112.10.4.1.1.2] usage/19961227-43 jiro@ace.nerimadors.or.jp (TANAKA Jiro) <JIRO.96Dec27082627@ace.nerimadors.or.jp>

[112.10.4.1.1.3] +1,2 usage/19961226-71 gami@infor.utsunomiya-u.ac.jp (Yoshitsugu KAMIMURA) <gami-ya023680002612962000090001@nikko.utsunomiya-u.ac.jp>
一度、この記事からご自分の元記事を「参照」できるか、やってみていただけませんか？

[112.10.4.1.1.3.1] usage/19961227-75 asada@three-a.co.jp (Takuya ASADA) <59va7m\$ign@daikoku.three-a.co.jp>
これでは、ネットニュースの規格にそってないのでですね。... 最悪記事が失われたりする可能性があるというコトです。

<更に下のサブツリー：匿名投稿者の正体>

[112.10.5] +4,19 usage/19961221-38 j50596@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp (HOLY) <J50596.96Dec21150851@b00-xs00.hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp>
この記事の投稿者は、Usenet-Boy = Anonymous こと野田昌孝さんである嫌疑が非常に濃厚

[112.10.5.1] usage/19961225-45 smatsuda@molbio.med.osaka-u.ac.jp (shuji matsuda) <smatsuda-2512961456380001@molbio.med.osaka-u.ac.jp>
ちがう。この元記事は、東京都内のプロバイダから発信されています。

[112.10.5.2] +1,2 usage/19961221-78 "Ataro Mohrets" <honinbow@po.jah.or.jp> <01bbef5e\$cde4d20\$b436d4ca@lady-aquarius>
これはかなり破壊力のあるジョークだなあ。UsenetBoy に僕と同じ程度の日本語が書けていたかどうか考えてくださいよ。

[112.10.5.2.1] usage/19961221-101 "無記名 (日本人は人を馬鹿にするが、日本人自身が馬鹿である)" <32BCA923.7625@Anonymous.com>

Usenet Boy さんへ対してのいいわけですか？

[112.10.5.3] +1,6 usage/19961221-39 jj67016@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp (jj67016)
 <JJ67016.96Dec21154537@ecc-as04.hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp>

あなたの学生証番号をたどって容易に実名が特定できることは御存知ですよね。

[112.10.5.3.1] +4,5 dummy dummy <32BC1FC8.601@Anonymous.com>

Usenet Boy さんは無責任に発言しました？ まあ地震予告がいい加減で世の中を狂わせたなどと言えば別でしょうけど。

[112.10.5.3.1.1] usage/19961222-35 jj67016@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp (jj67016)
 <JJ67016.96Dec22092402@ecc-1x02.hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp>

僕は、何も君の行動を云々しているわけではなく、他ならぬきしーにむかって「ずっと言ってきた」のですよ。

[112.10.5.3.1.2] usage/19961222-40 falcon@harenet.or.jp (Yamamoto)
 <59ig9n\$bfm@po.harenet.or.jp>

[112.10.5.3.1.3] usage/19961222-45 jj67016@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp (jj67016)
 <JJ67016.96Dec22095337@ecc-1x02.hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp>

別に君のことは言ってない。日本語わかる？ わかりませんね。

[112.10.5.3.1.4] usage/19961222-71 shaker@yk.rim.or.jp (Fujimoto Makoto)
 <SHAKER.96Dec23003504@exelion.yk.rim.or.jp>

あれも十分無責任でいい加減は予告でしたね。日付と震度はまあいいとしても、肝心の場所が彼の予告では「日本全土」…

[112.10.5.4] +1,9 dummy dummy <SHAKER.96Dec23013533@exelion.yk.rim.or.jp>
 fj での問題はさておき、東京大学教育用計算機センター（本郷ECC）のユーザーとして問題があるよ。

[112.10.5.4.1] +2,8 usage/19961223-52 "Ataro Mohretsu" <honinbow@po.jah.or.jp>
 <01bbf096\$223b68a0\$8936d4ca@lady-aquarius>

どうしても匿名を守りたいのなら、個人としてどこかのプロバイダと契約して情報発信すべき

[112.10.5.4.1.1] usage/19961223-57 ishii@mail.at-m.or.jp (Kazuhiro ISHII)
 <59li8q\$p4u@riona.at-m.or.jp>

デタラメ理論をもとにしても、人にアレコレ指図をするっていうのは不愉快です。あつかましい

[112.10.5.4.1.2] +3,6 usage/19961224-78 j50596@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp (HOLY)
 <J50596.96Dec24191306@e00-xs01.hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp>

日本のように何事も企業中心に動いている社会では、企業に就職できるか否かは、critical な問題なんですよ。

[112.10.5.4.1.2.1] usage/19961224-67 suzuki@d-kiki.ees.saitama-u.ac.jp (Junya Suzuki)
 <E2x1pz.tv@saidai-g.cent.saitama-u.ac.jp>

そんなに critical な問題だったら・学籍番号付のアドレスから投稿…は止めましょうね。

[112.10.5.4.1.2.2] usage/19961224-77 "Ataro Mohretsu" <honinbow@po.jah.or.jp>
 <01bbf1b1\$5dba0c80\$ba36d4ca@lady-aquarius>

僕（Ataro Mohretsu）= Usenet Boy と決め付けていますが…別人であるのは簡単におわかりになると 思います。

[112.10.5.4.1.2.3] +1,3 usage/19961225-51 "Ataro Mohretsu" <honinbow@po.jah.or.jp>
 <01bbf214\$978ba640\$9436d4ca@lady-aquarius>

あなた個人の思い込みを、簡単に記事にしてしまうあなたの態度に、僕は少々あきれています。

[112.10.5.4.1.2.3.1] +1,2 usage/19961227-66 smatsuda@molbio.med.osaka-u.ac.jp
 (shuji matsuda) <smatsuda-2812960119270001@molbio.med.osaka-u.ac.jp>

『なに一人芝居してるの？ Ataro Mohretsu = Usenet Boy=HOLY=きしーじゃないの？』といわれても言い返すことができませんよね。

[112.10.5.4.1.2.3.1.1] usage/19961228-50 "Ataro Mohretsu" <honinbow@po.jah.or.jp>
 <01bbf48d\$4e4ff3340\$3536d4ca@honinbow.cosmo.jah.or.jp>

条件がそろえば、結構簡単です… 刑事事件にしてみればいいんです。

このスレッドの発端となった記事[112]は、投稿に際してハンドルを用いることには何ら問題はないと主張するもので、この主張自体、なんら反対意見は出ていない。元記事に続く小さなツリーでは、元記事の投稿者がハンドルを用いて投稿した、過去の記事内容に対するクレームが述べられている。

[112.8] に始まる要素数 6 の小さなサブツリーは、同一のユーザ ID で投稿したハンドルの異なる記事を、他人が投稿した記事であるかのよう

に発言したものを受け、同じユーザ ID から投稿しているなら、同一人物と考えられて当たり前の旨の指摘を受けている。

記事 [112.9] に始まる要素数 10 のスレッドでは、From 行に書かれた名前が話題とされ、これ自体も本名である確証は全くないものの、一応信用しておいても問題はなかろう、との考えが大勢を占めている。

[112.10] 以下の記事数 33 のスレッドでは、ハンドルを用いた投稿の問題点について議論がなされ、ハンドルを使うこと自体は問題ないものの本名がないと信用されにくい、投稿するニュースグループやメッセージ ID が不適当であり、ハンドルを用いること自体よりも、そういったルール違反が信頼性を損ねているとの指摘がなされている。また、メール攻撃などから身を守るためにあるとする、ハンドル投稿の理由についても解説されている。

[112.10.5] に始まる要素数 19 のサブツリーでは、匿名投稿者の正体に関して議論が発展する。まず、他の匿名投稿者の正体を明かした投稿に対し、Path 情報より、この推定が正しくないことが指摘されている。一方、ハンドルを持ちいる投稿者は、就職などの不利益を避けるために正体を隠す必要があると述べているにもかかわらず、学籍番号付のアドレスから投稿していたのでは、正体を隠すことはできないとの指摘もなされる。なお、匿名投稿は、投稿者の所属する組織の内部ルールに反するとの注意も行なわれている。

考察

実名に代えてニックネームを用いることは、fj が学術ネットワーク (Junet) 上のニュースグループであった時代から一部に行なわれていた。しかし、この時代では、大学、研究機関などの所属が明示されており、かつ、本名も From 行に注記されていることが一般的であり、ニックネーム (ハンドル) は、記事の投稿者に親しみを持たせる効果が主体であり、投稿者の実社会における正体を隠すという役割は全くといいほど担っていなかった。

Junet と BBS との相互接続が始まると、BBS の参加者からの投稿が増加した。BBS では、ハンドルを用いた投稿が一般的であり、BBS 経由で fj に投稿される記事もハンドルによって投稿者を表示することが一般的となった。BBS やインターネットプロバイダからの投稿は、ユーザ ID その他の組織を表示する部分にも、BBS あるいはインターネットプロバイダの名称が表示されるだけであり、これらにはどのような人であっても参加可能であるために、投稿者本人の属性を把握する情報としてはほど

んど役に立たない。投稿者を知る手がかりが、記事の内容だけしかない。

fj の多くの投稿者は、その所属と本名を明らかにして投稿している。これは、fj が研究機関を接続した Junet のニュースグループとして発展したことから、学術社会のコミュニケーションの通例として、発信者の所属と氏名を明記することが伝統となったためと思われる。この風習は、fj が BBS やインターネットプロバイダ等に解放された後も廃れていない。多くの BBS では、所属や本名を明かさず、「ハンドル」と呼ばれる通り名を用いてコミュニケーションが行なわれているのとは対象的である。fj と BBS の相互接続後、BBS と同様なハンドルを用いた投稿の可否に関して議論が起ったが、現在では、氏名や所属の明示は必要であるという考えに落ち着いている。

BBS やインターネットプロバイダは、誰でも参加することができ、参加者の属性は公開されていない。このような組織から投稿された記事の投稿者に関して、他の参加者が認識できるのは、記事の内容以外には、接続しているサービス組織とそこにおけるアカウントであり、それ以上は分からぬ。しかし、投稿者にメールを送ることが可能であり、また、接続組織は投稿者個人を把握しているため、法律上の問題があれば対処が可能である。更に、BBS やインターネットプロバイダ経由の投稿は、たとえ氏名が記載されていたとしても、それが本名であるかどうかの確認は困難であり、ハンドルの表示以上の役には立たない。これらのことから、ハンドルによる投稿者の表示は、認められる結果となったと考えられる。

ハンドルを用いた投稿は、通常は読者に投稿者の正体が分からないことが投稿者に期待されるため、現実の人間関係を離れた仮想的な人間関係であると投稿者に意識させる効果がある。このため、ともすると無責任な記事を投稿するケースもある。その一方でハンドルで識別される投稿者の新しいパーソナリティを作り上げるための注意と努力がなされる場合も多い。

この話題の発端となった堀氏のハンドル使用に関しては、fj の規約上の問題は少ない。即ち、堀氏は「極楽大使」なるハンドルを本文中に記載し、From 行の氏名を表示に該当する部分にも「Paradise-Ambassador」と記載し、本名は示されていない。しかし、ネットニュースのメッセージに要求されるのは、有効なユーザ ID が From 行に記載されることのみであり、堀氏の記事には fj の規約上の問題はない。但し、堀氏の所属組織の規約として本名での発信を義務づけており、後に From 行に記載するようになった「HOLY」も本名であるとの主張の正当性は疑わしく、堀氏の所属組織内部では問題とされる可能性がある。

4.7.3 アドレス偽造

スレッド 2は「ビルゲイツ」氏の投稿から始まっている。これは From 行を偽造した記事であり、匿名記事の一種と考えられる。前節のスレッドに現れた「無記名 (Usenet Boy)」からの記事 [112.10.3.1] 等も、これと同様に、ヘッダー情報を偽造した記事であり、記事 [112.10.3.1.1] において非難されている。Usenet Boy 氏は、<Anonymous@earthquake.com>なるユーザ ID を記載している。しかし、Path 行その他の情報からは、bctel.ca から実際の投稿を行なっていると推定される。また、earthquake.com は実在のサイトであることから、問題投稿に対する非難が関係のない組織に向けてなされるなどの問題も招く。なお、Usenet Boy 氏は「無記名 (日本人は人を馬鹿にするが、日本人自身が馬鹿である)」という文字列を From 行においていた記事および Usenet Boy というハンドルを用いた記事を、96年12月よりカナダのpntn02m01-42.bctel.ca 経由で、多数投稿している。

以下に、アドレスを偽造した記事の一例を示す。記事内容がアドレス偽造の議論であると同時に、この記事自体が From 及び Organization を偽造した記事となっている。即ち、投稿者は Big Ben's Providers に所属する usa@ussr.go.uk であると称し、投稿者宛のメールを usa@ussr.go.uk に送るように求めている。しかし、Path 行、Message-ID: <4quiad\$8i7@fu.bekkoame.or.jp>、及び NNTP-Posting-Host: fko0143.bekkoame.or.jp より、この記事が日本国内にある fu.bekkoame.or.jp から投稿されたことはほぼ明らかである。もちろん、自称 Charles 氏が後の投稿で主張するように、日本に国際電話をかけて fu.bekkoame.or.jp に接続することは不可能ではない。しかし、あえて費用のかかる方法を選択する理由は見い出せない。

この記事はあまりにも荒唐無稽であり、From 及び Reply-To に示されたアドレスも無効と考えられ、無駄な記事が投稿されたという以上の害はないと思われる。しかし、同じ手段で実在の人物になりますことも可能である。実在の他人になりますまして記事を投稿することは、アドレスを偽られた人の名誉を傷つけ、あるいは抗議メールの殺到を招いて業務に支障を来すなどの損害を与えかねない。アドレスの詐称に関しては接続組織のレベルでブロックするなど、サイトの管理強化が必要と思われる。

```
Path: coconuts.jaist!wnoc-tyo-news!etlnews.etl.go.jp!
      etlinn.etl.go.jp!etl.go.jp!trc.rwcp!rwc-tyo!
      news.iij.ad.jp!iijnet!gundam-lab-news!
```

watagashi.bekkoame.or.jp!fu.bekkoame.or.jp!news
From: Charles <usa@ussr.go.uk>
Newsgroups:fj.news.usage
Subject: I am Charles (Who do you think I am?)
Followup-To:fj.news.usage
Date: 27 Jun 1996 13:11:41 GMT
Organization: Big Ben's Providers
Lines: 64
Distribution: world
Message-ID: <4quiad\$8i7@fu.bekkoame.or.jp>
Reply-To: Charles <usa@ussr.go.uk>
NNTP-Posting-Host: fko0143.bekkoame.or.jp
X-Newsreader: AIR News 3.X (SPRY, Inc.)

毎度お騒がせしております。ロンドンのチャールズと申します。
<中略>

Charles Williams, London U.K.
usa@ussr.go.uk, Big Ben's Providers

4.7.4 匿名サイトからの記事

スレッドの内容

From 行の偽造による匿名記事を投稿する行為は、インターネットの規約にも反する。しかし、オランダにある匿名サイトを利用して投稿されている nobody@replay.com をユーザ ID とするものは、インターネットの規約上は正当な記事である。但し、このアドレスは複数の者に共用されること、メールが投稿者に届くアドレスではないことから、fj の規約には反する。

replay.com は、社会的な弱者のために匿名での情報発信を助けることを大義名分としている。しかしながら、実際に fj に投稿された記事内容をみる限り、匿名投稿の必要性は認められない。

fj.news.usage に最初に現れた replay.com からの匿名記事は「destroy the fj.* !!!」と題す記事 [504] で、1996年6月2日に投稿されている。内容は、fj におけるルール逸脱に対する指摘が厳しく、fj は嫌いであるとするものであった。以下のスレッドにおいて、匿名投稿者が問題とした点は事実誤認であることが指摘され、また、fj が嫌いなら読まなければ良かろうとの意見が投稿されている。

destroy the fj.* !!!
[504] +13,20 usage/19960602-03 nobody@REPLAY.COM (Anonymous)

<4oqumk\$7g8@basement.replay.com>
投稿記事の削除=意見の封殺 も平気での連中はやっています ... はっきりいって、わたしは f_j が嫌いです。

[504.1] usage/19960602-04 愛の戦士 <ono@osa.sumikin.co.jp>
<wzafymptbl.fsf@ss2.osa.sumikin.co.jp>
アノニマス投稿ということをあいまって、上の文面だけでは甚だ説得力に欠けるというのが読み終えた私の印象あります。

[504.2] usage/19960602-08 hosokawa@mt.cs.keio.ac.jp (HOSOKAWA Tatsumi)
<4orjla\$8om@primrose.mt.cs.keio.ac.jp>
替え歌を投稿したい人自身を代表した方が JASRAC におうかがいをたてたのです。

[504.3] usage/19960602-11 shiba@luna.sci.ibaraki.ac.jp (T. Shibatsuka ())
<SHIBA.96Jun217094@luna.sci.ibaraki.ac.jp>
もし彼らよりしっかりとした意見があるなら 彼らを納得させる論理があるなら それが、f_j で受け入れられると思います。

[504.4] usage/19960602-21 Noboru Miwa <Noboru_Miwa@mb1.nkc.co.jp>
<31B1AA40.2638@mb1.nkc.co.jp>
自由に発言出来ることは思いましたけどね。その代わり他の人も自由に発言するという、ただそれだけの事だと思います。

[504.5] usage/19960602-23 void@merope.opus.or.jp (Kusakabe Youichi)
<1996Jun2.190103.12623@merope.opus.or.jp>
なんだ。同一人物が書いてるじゃん。あきれた...

[504.6] usage/19960602-25 komatsu@nimc.go.jp (KOMATSU Toshiki)
<4orh2a\$h2f@ripperspost.aist.go.jp>
そういう世界を自分で作るべきです。

[504.7] usage/19960603-04 mim@pav.hitachi-sk.co.jp (Yoshitsugu Mimuro)
<4otib\$t31v@ns.hitachi-sk.co.jp>
「見なければイイ」って言う忠告しかできません。

[504.8] usage/19960603-06 yamada.ikuji@promote.tsh.cae.ntt.jp
<960603111622.M0300407@tar06.promote.tsh.cae.ntt.jp>
* 嫌い* ではなく、「今、何をどうすべきか」という意見を述べて頂きたいものです。

[504.9] usage/19960603-08 ochiai@momo.mmp.cl.nec.co.jp (K.Ochiai)
<OCHIAI.96Jun3095703@momo.mmp.cl.nec.co.jp>
この記事は単に感情をぶちまけてるだけだし、怪しい From もあなたのこの記事に対する無責任性を露呈しているだけのような気がします。

[504.10] usage/19960603-17 Hidehiro Nakauchi <nakauchi@cmn.mkhar.sharp.co.jp>
<31B28373.208B@cmn.mkhar.sharp.co.jp>
fj.misc にフォローしちゃった。

[504.11] +1,2 usage/19960602-12 matuzaka@kt.rim.or.jp (Matsuzaka Daisuke)
<4orm18\$81t@news.kt.rim.or.jp>
nobody@REPLAY.COM なんてアドレスからこんな感情的な記事をだしてあるあなたも同レベルだと思いますが。

[504.11.1] usage/19960602-16 matuzaka@kt.rim.or.jp (Matsuzaka Daisuke)
<4os4gs\$a15@news.kt.rim.or.jp>
>自分の名前・所属も書かずにだしてあるあなたも同レベルだと思います。 とします。

[504.12] +1,3 usage/19960602-09 hosokawa@mt.cs.keio.ac.jp (HOSOKAWA Tatsumi)
<4ork0b\$8om@primrose.mt.cs.keio.ac.jp>
パソコン通信はシスオペ削除がありますが、fj にはありません

[504.12.1] +1,2 usage/19960602-18 onizuka@nisiq.net (Kentaro ONIZUKA)
<ONIZUKA.96Jun2231602@lachesis.nisiq.net>
簡単にいえば、「fj 漢せ！！」とかいう記事があつてもよいのが、fj だと思いますよ。

[504.12.1.1] usage/19960603-46 aa37091@hongo.ecc.u-tokyo.ac.jp (Masami Okunishi)
<aa37091-0306962317520001@news.u-tokyo.ac.jp>
いずれにしろ自由で活発な議論があるのが最低条件ですね。

[504.13] +2,4 usage/19960602-20 Noboru Miwa <Noboru_Miwa@mb1.nkc.co.jp>
<31B1AB7B.30B3@mb1.nkc.co.jp>
自由に発言出来ることは思いましたけどね。その代わり他の人も自由に発言するという、ただそれだけの事だと思います。

[504.13.1] usage/19960603-05 Noboru Miwa <Noboru_Miwa@mb1.nkc.co.jp>
<31B24D63.42A@mb1.nkc.co.jp>
私の投稿が二重になってますが、これは私のミスです。失礼しました。

[504.13.2] +1,2 usage/19960603-16 hosokawa@mt.cs.keio.ac.jp (HOSOKAWA Tatsumi)
<4otr8i\$172@primrose.mt.cs.keio.ac.jp>

掲示版サービスが日本語に対応していないのが原因で起こった単なる事故 ... ということが、やさしく説明されています。

[504.13.2.1] usage/19960603-20 asada@three-a.co.jp (Takuya ASADA)
<ASADA.96Jun3155932@benten.three-a.co.jp>
匿名の是非ウンヌンはさて置いたとしても、連絡先が確保できないのは、こういう時にコマルですね。

匿名サイトから投稿された記事の解析

nobody 氏は、スレッドを形成しての反論をほとんどしない。nobody 氏がほとんど自らが投稿したニュースグループを読んでいないのではないかという疑問も出されている。この点に関しては、匿名サイトからの投稿に際して References を正しく設定することが困難であるため、フォローアップも独立した投稿として扱われている可能性もある。このため、匿名記事の解析はスレッド単位で行うことは困難と考え、記事単位で解析を行った。匿名サイトから投稿された記事は解析対象範囲において 1452 件認められた。しかしながら、解析期間の後半では、転送拒否サイトの増加や第三者キャンセルにより、匿名記事の転送が阻害されている。そこで、前期の部分に相当する、1997年 10月以前に nobody 名義で投稿された全ての記事を対象として解析を行なうこととした。

前記スレッドを形成した nobody 氏からの最初の記事が投稿された後、約一月半の間に nobody@REPLAY.COM (Anonymous) および nobody@flame.alias.net (Anonymous) 名義で 24 件の記事が投稿された。内容は、先の記事と同様、fj 対する反感と「常連」に対する非難がほとんどである。fj.news.usage は、fj 以下のネットニュースの使い方に関して議論する場であり、不適切な利用を戒める記事が多く投稿される。nobody 氏の主張の論旨は、インターネットはもっと自由な場であるべきであり、細かい規則を設けるべきではなく、これを守らない記事に対する指摘は一種のイジメであるというものである。

これらの匿名記事のいくつかは、それ自体が厳しい指摘を行なってきた特定の投稿者を非難するものであり、nobody 氏の批判する行為自体を自らが行なっている形となっている。また、これらの記事の大半は暴言に近い記事である。一例を以下に示す。

From: nobody@REPLAY.COM (Anonymous)
Date: 24 Jun 1996 23:28:02 +0200
Message-ID: <4qn192\$jsh@basement.replay.com>

いるねえ
つまんねえことを毎度のたまってる、ハエみたいな常連が
くさかべえんどう しまだ まつおか～
こいつらのために

Table 4.9: nobody@replay.com からの投稿件数推移

| 月 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
|----|----|---|---|---|----|----|----|---|---|---|---|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 件数 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 48 | 230 | 260 | 106 | 100 | 141 |

fj.junk-people fj.unkofj.gerofj.bakafj.dustfj.fucking ~
 とか収容施設つくってやれば?
 そのほうが雑音がはいんなくていい

1996 年の nobody 氏の投稿は 7 月 16 日を最後に収束したが、翌年同アドレスより投稿された fj 批判の短文とマルチ商法への勧誘記事に続いて、5 月 16 日に匿名投稿の方法を解説する記事が投稿されると、nobody@replay.com からの記事数は一挙に増大した。1996 年 6 月から 1997 年 10 月までの間に nobody@replay.com から fj.news.usage への月別投稿件数を表 4.9 に示す。

1997 年 5 月の匿名記事の内容は、半数の 24 件が、匿名投稿の方法、利用法の提案、質問など 6 件、テスト 13 件、匿名を勧める記事 5 件と、匿名投稿それ自体に関する記事で占められている。その他の内容として、fj や常連を批判する記事が 12 件（内 5 件は Gokuu 氏に対する批判）、逆に常連を支持するものが 3 件、意味不明の記事が 7 件、宣伝記事 1 件、end 対策のための全文引用記事が 1 件となっている。

6 月に入ると、nobody@replay.com からの投稿件数は急増する。その内容は、以下のものである。6 月から 10 月にかけての nobody 氏の投稿内容の月別推移を表 4.10 に示す。

第一のカテゴリーは、匿名投稿に関する記事であり、

- 匿名投稿を支持する記事 69 件
- 匿名記事に反対する記事、キャンセルの呼びかけ 8 件、
- 匿名投稿に関する自虐的な記事 9 件、
- 匿名投稿の方法を紹介するもの 51 件、
- 匿名投稿に関する技術的な質問 5 件、
- テスト投稿 81 件、
- 単なる会話 13 件、
- 意味不明の記事 149 件

Table 4.10: 匿名投稿の内容と月別推移

| | 投稿月 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 合計 |
|---------------------|-----|----|----|----|----|----|-----|
| 匿名投稿に関するもの | | | | | | | |
| 匿名支持 | | 17 | 34 | 8 | 2 | 8 | 69 |
| 匿名反対 | | 2 | 2 | 4 | | | 8 |
| 自虐的内容 | | | 9 | | | | 9 |
| 匿名での会話 | | 8 | 2 | | 2 | 1 | 13 |
| 匿名投稿の方法紹介 | | 8 | 13 | 8 | 6 | 16 | 51 |
| 匿名投稿に関する質問 | | 3 | | 1 | | 1 | 5 |
| 匿名投稿のテスト | | 34 | 25 | 9 | 4 | 9 | 81 |
| 意味不明, 無内容 | | 53 | 25 | 13 | 13 | 45 | 149 |
| fjに関する批判, 議論 | | | | | | | |
| fjに対する批判 | | 9 | 4 | 4 | 1 | 10 | 28 |
| 中立的評論 | | 6 | 1 | | 1 | | 8 |
| 他の記事への批判 | | 6 | 5 | 8 | 8 | 7 | 34 |
| end 行対策 | | 18 | | | | | 18 |
| 常連批判 | | 31 | 90 | 14 | 10 | 15 | 160 |
| 常連支持 | | 4 | 2 | 5 | 2 | | 13 |
| 常連への中立的評論 | | | 2 | 2 | 4 | | 8 |
| ウエブページの紹介 | | | 2 | 2 | | | 4 |
| 社会問題 | | | | | | | |
| 政治批判 | | 6 | 2 | 5 | 8 | 3 | 24 |
| 企業批判 | | | | 5 | 2 | | 7 |
| ネット, 計算機 | | | | | | 6 | 6 |
| 報道の紹介 | | 4 | 5 | 1 | 1 | | 11 |
| 酒鬼薔薇関係 | | 16 | 24 | 11 | 20 | 8 | 79 |
| オウム真理教関係 | | | 2 | 6 | 3 | 1 | 12 |
| ウエブページの紹介 | | | | | 3 | 4 | 7 |
| 営業関係 | | | | | | | |
| 広告宣伝 | | | 1 | 1 | 3 | 1 | 6 |
| アダルトページの宣伝 | | 5 | | 1 | | | 6 |
| ビジネス批判 | | | | | | 1 | 1 |
| 鼠講の勧誘 | | 3 | | | | 2 | 5 |
| 鼠講の勧誘批判 | | 8 | 2 | 1 | | | 11 |

が投稿されている。意味不明の記事の一部はテストの意味合いでなされていると思われる。なお、「意味不明」という分類は、*fj.news.usage* の記事として意味が読みとれないという意味で分類しており、サブジェクトを並べると単語が読めるものや、「火暴」などの文字の遊び、テキストで絵を表示したも、わいせつ用語のコレクションなど、投稿者の意図が読みとれるものも含めている。

匿名投稿の方法を解説する記事は毎月 10 件前後継続的に投稿されており、新規の匿名投稿者の呼び水となっているものと思われる。匿名投稿を支持する記事およびこれに反対する記事は前半で多いが後半では少なくなっている。これは、後半に至って匿名投稿の存在自体が既成事実化したため、その妥当性に関する議論は意味を失ったためと考えられる。匿名投稿に関する自虐的記事は、ある nobody 氏の屈曲した感情の表現とも読みとれるが、nobody の記事をキャンセルすることを勧める、匿名記事反対の立場で投稿された記事であるとも解釈できる。

第二のカテゴリーは *fj* のニュースグループ、特に *fj.news.usage* に対する批判と、そこに投稿している常連に対する批判およびこれに関連する議論であり、

- *fj* に対する批判 28 件
- 常連批判 160 件、
- 常連支持 13 件
- 中立的な評論 8 件、
- 他の記事に対する指摘、評論 34 件
- end 行対策 18 件

が投稿されている。常連批判記事の多くは特定の個人名をあげて雑言を浴びせるものである。*fj.news.usage* に常連から投稿される記事に多い、ルール違反に対する厳しい口調での非難に対して、もっと丁寧に指導すべきとの主張は合理性があるが、nobody 氏の論調も決して丁寧なものではなく、これらの雑言を常連投稿者の厳しい口調の記事の書き方に対する批判として正当化することは難しい。

第三のカテゴリーは、社会の動きに関連するものであり、

- 政治批判 24 件、

- 企業批判 7 件,
- 報道を紹介するもの 4 件,
- 酒鬼薔薇事件に関するもの 79 件,
- オウム真理教に関するもの 12 件

が投稿されている。

この中では、酒鬼薔薇事件に関する投稿が極めて多いことが注目される。内容は、事件の詳細を報告するものと、犯人の本名や家族構成を公表するもの、及び酒鬼薔薇、あるいはその本名をハンドルとした悪戯的記事に分類される。酒鬼薔薇事件は、nobody 氏の強い関心の的であると同時に、その犯人をある種の「いじめ」の対象ととらえていることをうかがわせる。

酒鬼薔薇に関する記事と対象的に、オウム真理教に関する記事は、オウム真理教シンパから投稿されたと思われる内容の記事がほとんどである。オウム真理教が宣伝の道具として積極的にネットニュースを使っている可能性もある。

第四のカテゴリーは営業目的で投稿された記事とそれに対する反応であり、新ビジネスの宣伝、アダルトウェブページの紹介、鼠講の勧誘及びこれらに対する批判が投稿されている。鼠講の勧誘記事は 7 月に 3 件が投稿されているが、送金先の氏名を表示したため、「詐欺師のリスト」などの形で激しい攻撃に晒される結果となった。10 月の鼠講勧誘記事は、直接リストを提示せず、コンタクト先を紹介する形に変化している。

常連投稿者に対する批判の多くは特定の個人を非難するものである。非難の対象とされた投稿者を表 4.11 に示す。石田氏、佐藤文平氏は、常連といつても比較的最近参加した者であり、更に、Gokuu 氏、光ファイバー氏、Usenet Boy 氏、Dr.X 氏はほとんど nobody 氏と同じ範疇に属す投稿姿勢をとっている。1996 年の nobody 氏の批判対象は、古くからの投稿者である、日下部氏、松岡氏、遠藤氏、松田氏等であったことから、多少状況が変化している。97 年 6 月から 10 月までの間に nobody 氏に 2 回以上名指しで批判された常連をそれぞれのグループ別に示すと表 4.11 以下のようになる。

一般に、古くからの投稿者は、ネットニュースの秩序を維持し *fj* の文化の固定化を目指す傾向がある。新しい投稿者は *fj* の文化から逸脱する傾向にあり、これが古くからの常連の非難の的となる場合が多い。この批判を不服として新しい参加者が反発するというのが、*fj.news.usage*

Table 4.11: nobody 氏の批判対象

| | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 合計 |
|----------------|----|----|----|---|----|----|
| 古くからの常連 | | | | | | |
| 日下部氏 | 13 | 4 | 5 | | | 21 |
| 辻氏 | | 3 | 4 | 1 | | 8 |
| 松岡氏 | 2 | 1 | 1 | | | 4 |
| 鈴木裕信氏 | | 4 | | | | 4 |
| 久保田氏 | 2 | 1 | | | | 3 |
| 木村氏 | 2 | | | | | 2 |
| 崎山氏 | | | 1 | 1 | | 2 |
| 小計 | 19 | 13 | 10 | 2 | 1 | 45 |
| 新しい常連 | | | | | | |
| 石田氏 | 2 | 56 | 2 | | 5 | 65 |
| 佐藤文平氏 | 3 | 1 | | | | 4 |
| 小計 | 5 | 57 | 2 | | 5 | 69 |
| 匿名の常連 | | | | | | |
| 光ファイバー氏 | | 7 | 2 | 4 | 4 | 17 |
| Dr. X 氏 | | 6 | | | | 6 |
| Gokuu 氏 | 3 | | | | | 3 |
| Usenet Boy 氏 | | 2 | | | | 2 |
| 小計 | 3 | 15 | 2 | 4 | 4 | 28 |

Table 4.12: 投稿数の多い投稿者

| | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
|-------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------------|
| bunpei@powernet.or.jp | 0 | 65 | 391 | 3 | 0 | 26 | 0 | 佐藤文平氏 |
| nobody@REPLAY.COM | 1 | 48 | 230 | 260 | 106 | 100 | 141 | 匿名氏 |
| void@merope.opus.or.jp | 166 | 173 | 73 | 69 | 101 | 29 | 26 | 日下部氏 |
| smatsuda@moltbio.med.osaka-u.ac.jp | 81 | 161 | 128 | 45 | 24 | 0 | 0 | 松田氏 |
| smatsuda@mc.med.keio.ac.jp | 0 | 0 | 0 | 0 | 29 | 84 | 38 | 同上 |
| aberration@bekkoame.or.jp | 0 | 0 | 0 | 0 | 44 | 155 | 0 | |
| jcol@leo.bekkoame.or.jp | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 125 | 0 | |
| kuno@gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 118 | 久野氏 |
| ktokita@fsinet.or.jp | 0 | 0 | 0 | 0 | 115 | 53 | 0 | |
| ktokita@st.rim.or.jp | 0 | 0 | 0 | 106 | 2 | 0 | 0 | |
| fwhn0251@mb.infoweb.or.jp | 60 | 92 | 43 | 68 | 64 | 18 | 7 | Gokuu 氏 |
| lala-z@cg.NetLaputa.or.jp | 90 | 17 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 松岡氏 |
| asada@three-a.co.jp | 87 | 32 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| kawa@osk.threewebnet.or.jp | 0 | 84 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| tomokazu@roland.co.jp | 22 | 79 | 69 | 39 | 25 | 10 | 3 | |
| ahmygoddess@mail.wbs.or.jp | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 66 | 光ファイバー氏 |
| raeva@t3.rim.or.jp | 6 | 14 | 17 | 65 | 34 | 27 | 6 | |
| s.kishimoto@justnet.or.jp | 9 | 65 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| ohshimak@super.win.or.jp | 0 | 14 | 31 | 0 | 25 | 63 | 23 | |
| tisi@gol.com | 39 | 56 | 62 | 22 | 35 | 31 | 26 | 石田氏 |
| miyano@yokohama.tao.or.jp | 61 | 58 | 31 | 21 | 20 | 14 | 18 | |
| Usenet_Boy@hotmail.com | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 59 | 0 | Usenet Boy 氏 |
| mizuki@tky.threewebnet.or.jp | 0 | 1 | 57 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| sk@iaw0.att.net.or.jp | 0 | 0 | 0 | 11 | 56 | 40 | 55 | |
| itakura@dps.ntts.co.jp | 17 | 54 | 17 | 15 | 23 | 37 | 11 | |
| ayrton@fsinet.or.jp | 0 | 0 | 22 | 45 | 53 | 51 | 6 | |
| tatsuno@tis.ncl.omron.co.jp | 7 | 40 | 52 | 9 | 4 | 1 | 0 | |
| miyachi@rosetta.sccs.chukyo-u.ac.jp | 51 | 39 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |

における論争の一つの典型である。古くからの常連の指摘に対して、その内容よりはその指摘の仕方(用語の厳しさや、説明の不十分さ等)が問題であると、多くの場合、新しい参加者は主張する。

nobody 氏 (Gokuu 氏等の匿名常連投稿者も同じく) の *fj* 及び古くからの常連に対する批判の論拠も、当初は同様の論調を踏襲してきたが、前述のごとく、その記事自体が暴言に近く、説得力を持たない。そして、特に後半になるに従って、批判の理由は論理ではなく感性に基づき、その論調も、個人攻撃の色合いを強めてくる。

攻撃の対象となる者は、第一に投稿数が多く目立つものであり、主義主張は問われない。例えば、Gokuu 氏は日下部氏をはじめとする *fj* の古くからの常連に繰り返し非難を浴びせており、nobody 氏に極めて近い立場にあるにも関わらず、偽造記事による攻撃を含む nobody 氏の厳しい非難の的となっている。1997年4-10月に一ヶ月50件以上の記事を *fj.news.usage* に投稿している者は表4.12に示す通りであり、月あたりの投稿数の多い者が nobody 氏の批判の対象になり易いことが分かる。

特に多数の批判を受けているのが、7月の石田氏である。彼は、nobody@

replay.comからの記事を第三者キャンセルしたということで多くの批判を集めている。同様な現象は、96年6月に匿名記事の配達をするべきでないと主張した松田氏に対する批判が集中にもみられる。また、石田氏の投稿した古い記事には、民族差別的内容が含まれており、これを掘り出して批判していることは、攻撃しやすいものを攻撃するという、酒鬼薔薇に対する執拗な攻撃と同様の「いじめ」の要素も含まれている可能性もある。

「いじめ」の構図は鼠講勧誘記事に対する批判記事にもみられる。これらの記事は、鼠講の危険性を指摘するものではなく、そのリストに送金先として表示された氏名を「詐欺師のリスト」として繰り返し投稿するという形態をとっており、違法行為を行なったものを晒し者にするという側面が強く現れている。もちろん、ネットワーク上に鼠講がはびこることは好ましいことではなく、nobody氏の記事が鼠講勧誘記事の抑制に意義があったことは確かである。

以上をまとめると、第一に、nobody氏の投稿動機は何らかの主張を行なうことにより社会を変革するというよりは、自らの感情を人目のつくところに置く行為自体にあり、ネットニュース上で目立つ、多数の記事を投稿している者を、その内容に関わらず非難していると思われる。人々がインターネットに参加する動機として「自己(パーソナリティ)確立」、「自分探し」があるといわれているが、目立った者を非難して反応を得ることに、自己の存在感を確認するという意味を見い出しているとの印象を受ける。

第二に、nobody氏の様々な記事に「いじめ」の構図が認められる。但し、常連に対する「いじめ」はあまり成功していない。これは、攻撃の対象となるほどの多数の記事を投稿している人は、激しい議論を経験しており、少々の批判や攻撃には動じないこと、ネットニュースを通じた言葉による攻撃で与えられるダメージには自ずと限界があることによる。後期に至ると、批判対象者の個人情報を調べて住所を投稿し、襲撃を匂わせる記事も投稿されている。

第三に、酒鬼薔薇事件に関連する投稿が79件の多数に及び、nobody氏が酒鬼薔薇事件に強い関心を寄せていることをうかがわせる。これは、単に目立つ存在に対する嫌悪感や、「いじめ」の対象としての手頃さにより酒鬼薔薇事件の犯人が攻撃されているだけでなく、酒鬼薔薇事件で浮かび上がった自己の存在感の喪失という問題をnobody氏が共通に抱えている可能性もある[豊泉 1997]。

nobody氏の記事から全般的に受ける印象に、nobody氏のコミュニケーション能力が他のネットニュース投稿者に比較してかなり劣ってい

る点があげられる。これは、フォロー記事の投稿やキャンセルが困難である等、replay.com を通して投稿することに由来する技術的な制約もある。しかし、他者との対話で世界観を深めたり、議論により合意を形成するという経過がほとんどみられないこと、nobody 氏の他者との関係は、反発して雑言を浴びせること、あるいは声援を送るといった、自己の感情表現に限られており、nobody 氏自身の特性としてコミュニケーション能力に劣っているものと推定される。

nobody 氏の記事のかなりの割合を占める意味を認め難い記事は、匿名投稿のテストとして投稿された可能性もあるが、投稿という行為自体を目的としているとも考えられる。これらの意味不明の記事は、他者のフォローは見込めないものの、少なくとも自分の書いた記事が共通の場に提示されるという、目に見える結果に結び付いている。

fj.news.usage に投稿された匿名記事に、そのニュースグループ本来の目的(ニュースグループの使い方に関する議論)に即した有用性を認めることは困難であるが、nobody 氏は自己の存在感の喪失という問題を抱えており、ネットニュースに投稿し、その投稿に対する反応を得ることにより自己の確立を求めている可能性もある。自己を正当化する論拠として、fj.news.usage における常連の厳しい糾弾の口調は批判されて然るべきとの視点、インターネットは自由であるべきとの理想論、およびハッキングに対するヒロイズムなどが混然一体として横たわっており、一方にネットニュース上で目立つ人々に対する反感、あるいは、大学や企業などの肩書に対する反感があり、これを他者と共有できると考えている節がある。

nobody 氏の投稿する記事には議論に値する提言を見出すことはできず、ネットニュース上では単なるノイズとしてしか認められていない。匿名投稿に意味があるとすれば、それは投稿者自身の満足感(nobody 氏の言を借りれば「ガス抜き」)であり、自己を失った人々の悲鳴を他者が認識する機会としてであろう。これを、ネットニュースの本来の目的に反するとして否定することもできるが、社会問題解決の一つの機会として肯定的に評価することもできよう。

4.8 対立の構図

以上、fj.news.usage を対象として、ネットニュースにおける議論の分析を行った。ここで、いくつかの代表的な話題につき論点を整理しておく。

指摘の仕方: 正確な情報が提供されればよしとするのか、個人の人格に踏み込んだ対応を心がけるべきか議論されている。fjのように大きな集団では、個々の人格にまで踏み込んだ対応は難しく、情報の正確さのみを考えることで十分ではないかとの指摘がなされている。

用語について: その場で意味が通じれば良いのか、誤解を招きにくい、正確な用語を用いるべきかが議論されている。正確さを追求すると、コミュニケーションを阻害するとの主張がある一方で、fjのような開かれた場では、明瞭な用語を用いるべきとの主張もなされている。

end 行について: 特定のニュースリーダのバグにまで、投稿者が配慮する必要があるかどうかについて議論が行われている。バグの意図的な利用に対して意地悪との否定的な見方がある一方で、end 行は禁止されているわけではなく、これを用いられて文字化けが生じてもあきらめるしかないとの意見もある。

匿名投稿: ハンドル(ネット上のニックネーム)の使用は許容されるとの考え方方が支配的であるが、From の偽造や、ユーザ ID を隠した投稿に対しては、大方否定的な見解である。

その他: 著作権などの法律に関連する議論も多く行われている。法を遵守すべきとする主張は大方の支持を得ているが、違法性を疑われる行為に対する厳しい口調の指摘については批判も多い。

これらの対立点は、すべて、他者への配慮や優しさを求める立場と、情報の正確さと規則の遵守を求める立場との間の対立であり、仲間社会指向と普遍性指向との対立が、少なくとも fj.news.usage というコミュニケーションの場では支配的であるといえる。

現在の fj.news.usage 利用者の支配的な意識は、ネットニュースは開かれた場であり、正確さと普遍性を追求すべきとの主張が支配的であり、多数の人々がネットニュースを利用している現在では、個人的な事情に対して配慮が行き届かないことはやむを得ないと考える。一方で、個人の技術レベルや、参加者の計算機環境、あるいは個々議論の場の実情に可能な限り配慮すべきとの考えも根強い。

仲間社会指向と普遍性指向の両極端の間に、さまざまな中間的立場も認められる。この二つの指向の各々について、これを常識と考える人々が存在し、相反する立場の人々との間に文化的ギャップが存在するともいうことができよう。